

江 別 市
自治基本条例アンケート

報告書

平成28年10月

目 次

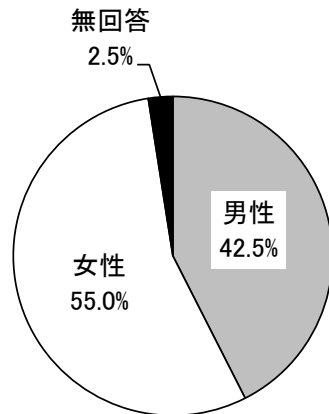
◆自治基本条例アンケート 報告書

【第1章 集計グラフ関係】	
第1節 単数回答設問グラフ	1
第2節 %目盛り100%統一グラフ	7
第3節 属性別グラフ	12
【第2章 意見関係】	
第1節 その他記入ご意見一覧	26
第2節 問9 市民参加の機会が十分にあると思うか	28
第3節 問13 条例第24条「市民参加の推進」の条文について、ご意見	30
第4節 問14 江別市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思うか	32
第5節 問18 条例第25条「市民協働の推進」の条文について、ご意見	35
第6節 自由記入一覧	37

第1章第1節 単数回答設問グラフ

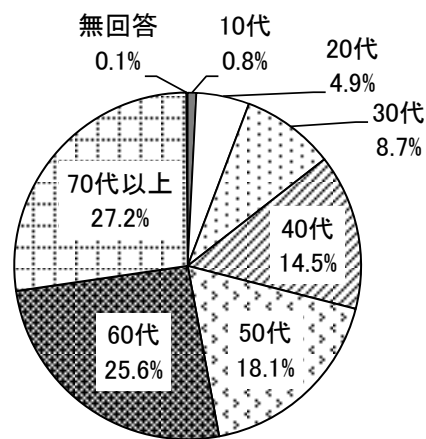
問1 性別

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	688	42.5
2	女性	890	55.0
	無回答	40	2.5
	全体	1618	100.0



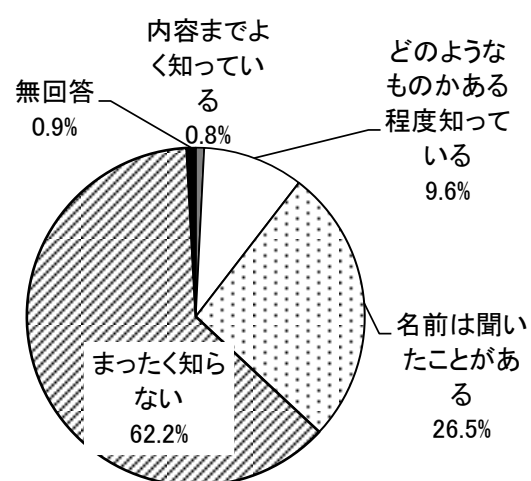
問2 年代

No.	カテゴリー名	n	%
1	10代	13	0.8
2	20代	80	4.9
3	30代	141	8.7
4	40代	235	14.5
5	50代	293	18.1
6	60代	414	25.6
7	70代以上	440	27.2
	無回答	2	0.1
	全体	1618	100.0



問3 「江別市自治基本条例」を知っているか

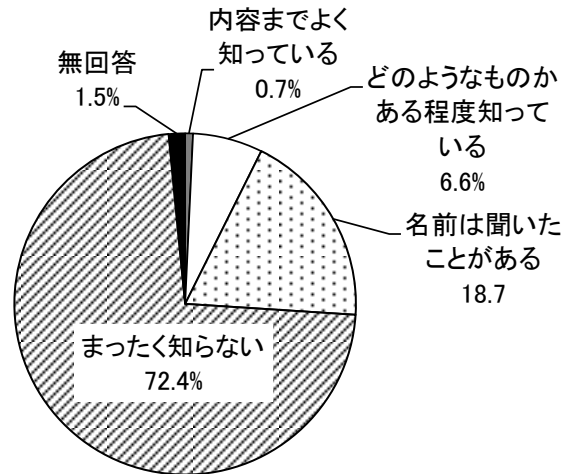
No.	カテゴリー名	n	%
1	内容までよく知っている	13	0.8
2	どのようなものかある程度知っている	156	9.6
3	名前は聞いたことがある	429	26.5
4	まったく知らない	1006	62.2
	無回答	14	0.9
	全体	1618	100.0



第1章第1節 単数回答設問グラフ

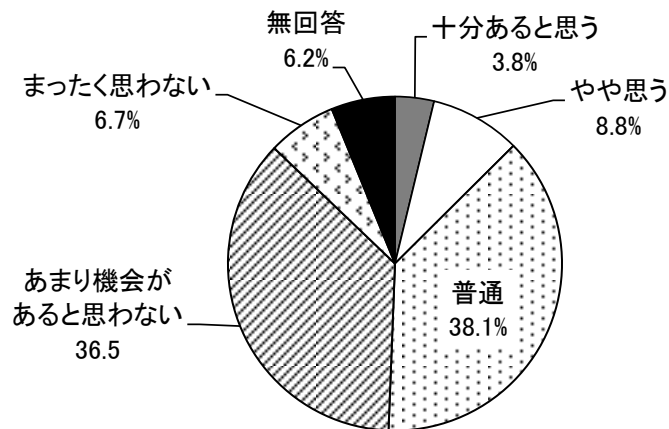
問7 「江別市市民参加条例」が昨年10月に施行されたことを知っているか

No.	カテゴリー名	n	%
1	内容までよく知っている	12	0.7
2	どのようなものかある程度知っている	107	6.6
3	名前は聞いたことがある	302	18.7
4	まったく知らない	1172	72.4
	無回答	25	1.5
	全体	1618	100.0



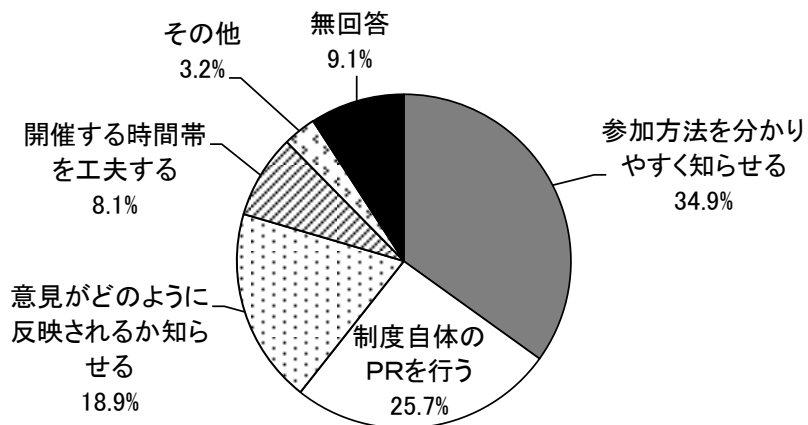
問9 市民参加の機会が十分にあると思うか

No.	カテゴリー名	n	%
1	十分あると思う	61	3.8
2	やや思う	142	8.8
3	普通	616	38.1
4	あまり機会があると思わない	591	36.5
5	まったく思わない	108	6.7
	無回答	100	6.2
	全体	1618	100.0



問12 多くの市民に参加してもらうために必要なこと (1) 附属機関等

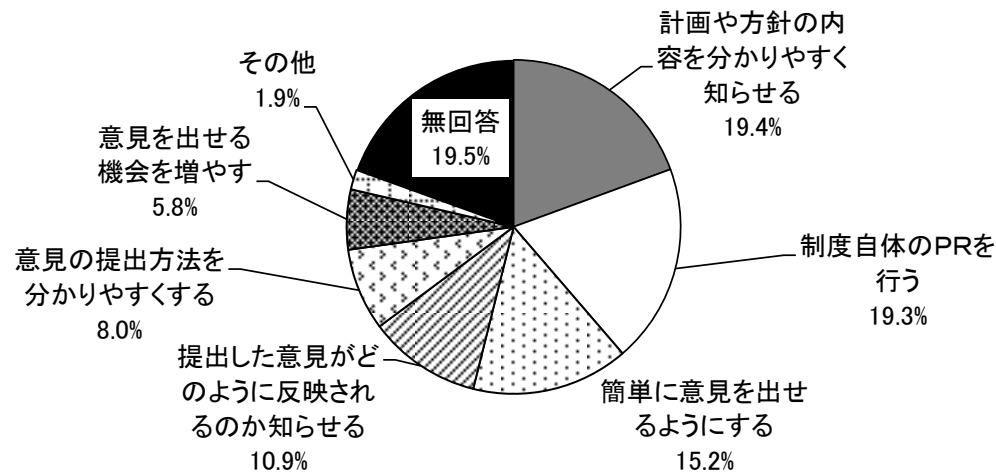
No.	カテゴリー名	n	%
3	参加方法を分かりやすく知らせる	565	34.9
1	制度自体のPRを行う	416	25.7
4	意見がどのように反映されるか知らせる	306	18.9
2	開催する時間帯を工夫する	131	8.1
5	その他	52	3.2
	無回答	148	9.1
	全体	1618	100.0



第1章第1節 単数回答設問グラフ

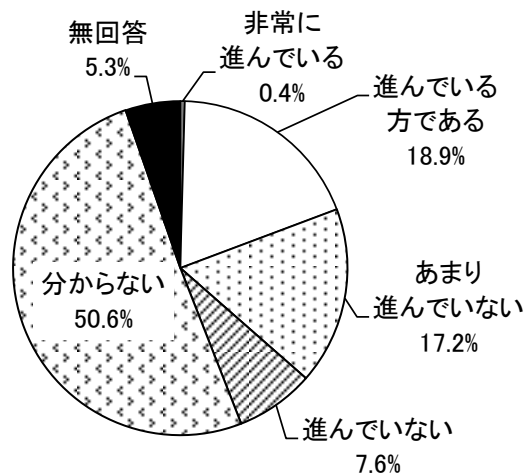
問12 多くの市民に参加してもらうために必要なこと (2) パブリックコメント

No.	カテゴリー名	n	%
5	計画や方針の内容を分かりやすく知らせる	314	19.4
1	制度自体のPRを行う	312	19.3
2	簡単に意見を出せるようにする	246	15.2
6	提出した意見がどのように反映されるのか知らせる	177	10.9
3	意見の提出方法を分かりやすくする	129	8.0
4	意見を出せる機会を増やす	94	5.8
7	その他	31	1.9
	無回答	315	19.5
	全体	1618	100.0



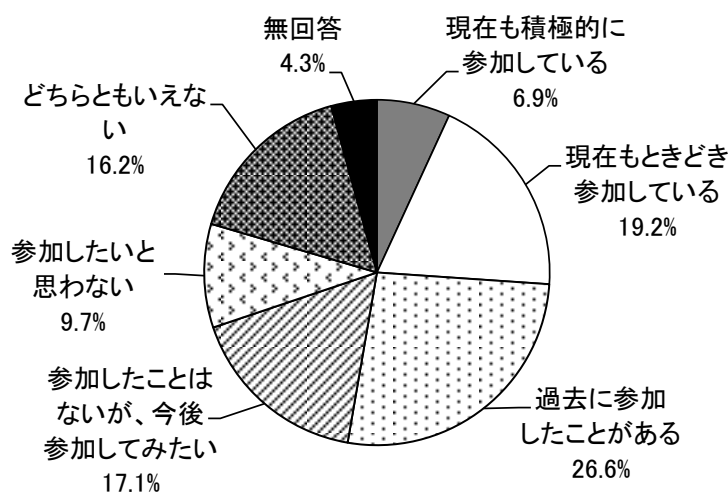
問14 江別市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思うか

No.	カテゴリー名	n	%
1	非常に進んでいる	7	0.4
2	進んでいる方である	305	18.9
3	あまり進んでいない	278	17.2
4	進んでいない	123	7.6
5	分からない	819	50.6
	無回答	86	5.3
	全体	1618	100.0



問15 まちづくり活動に参加したことがあるか

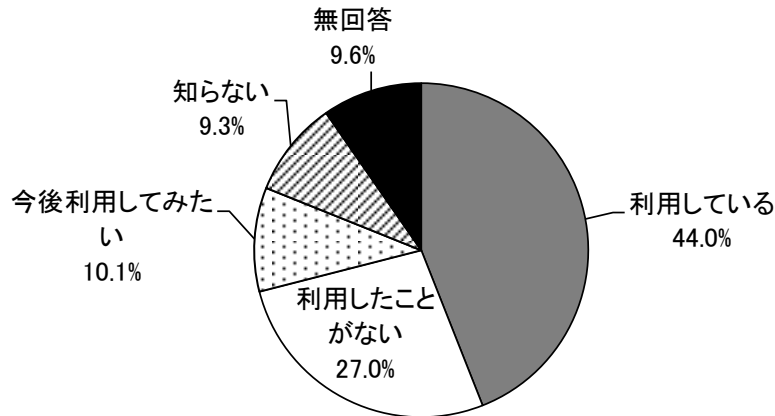
No.	カテゴリー名	n	%
1	現在も積極的に参加している	111	6.9
2	現在もときどき参加している	311	19.2
3	過去に参加したことがある	431	26.6
4	参加したことはないが、今後参加してみたい	277	17.1
5	参加したいと思わない	157	9.7
6	どちらともいえない	262	16.2
	無回答	69	4.3
	全体	1618	100.0



第1章第1節 単数回答設問グラフ

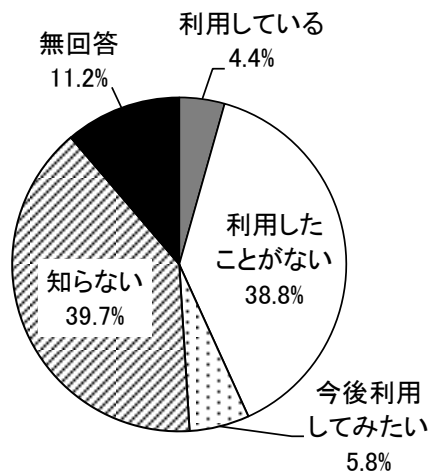
問17 「活動する場所」として次の施設を知っているか(1)公民館・住区会館(自治会館)

No.	カテゴリー名	n	%
1	利用している	712	44.0
2	利用したことがない	437	27.0
3	今後利用してみたい	163	10.1
4	知らない	150	9.3
	無回答	156	9.6
	全体	1618	100.0



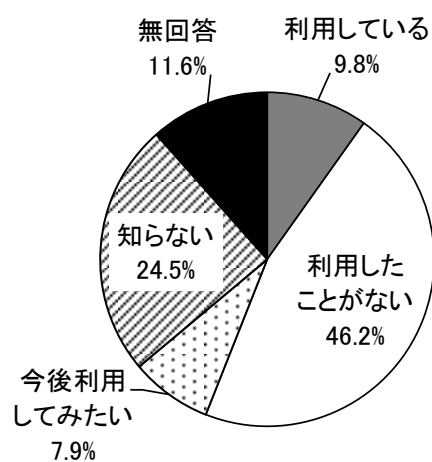
問17 「活動する場所」として次の施設を知っているか(2)江別市民活動センター・あい

No.	カテゴリー名	n	%
1	利用している	71	4.4
2	利用したことがない	628	38.8
3	今後利用してみたい	94	5.8
4	知らない	643	39.7
	無回答	182	11.2
	全体	1618	100.0



問17 「活動する場所」として次の施設を知っているか(3)江別市社会福祉協議会

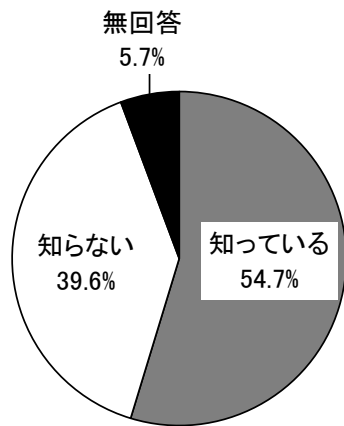
No.	カテゴリー名	n	%
1	利用している	159	9.8
2	利用したことがない	747	46.2
3	今後利用してみたい	128	7.9
4	知らない	397	24.5
	無回答	187	11.6
	全体	1618	100.0



第1章第1節 単数回答設問グラフ

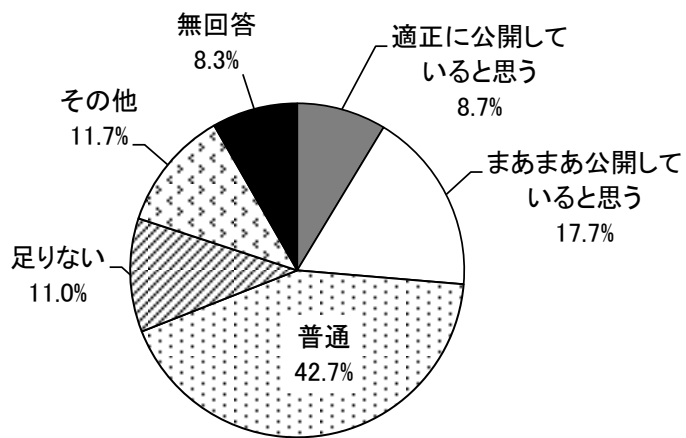
問19 情報公開制度があることを知っているか

No.	カテゴリー名	n	%
1	知っている	885	54.7
2	知らない	641	39.6
	無回答	92	5.7
	全体	1618	100.0



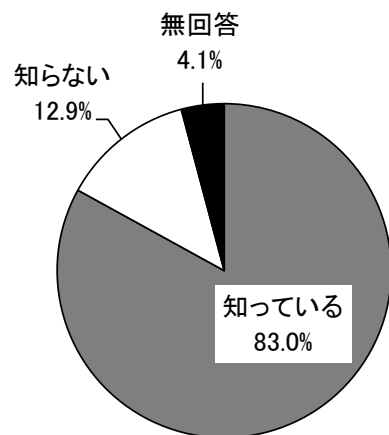
問20 江別市は適正に情報を公開していると思うか

No.	カテゴリー名	n	%
1	適正に公開していると思う	140	8.7
2	まあまあ公開していると思う	286	17.7
3	普通	691	42.7
4	足りない	178	11.0
5	その他	189	11.7
	無回答	134	8.3
	全体	1618	100.0



問21 個人情報保護制度があることを知っているか

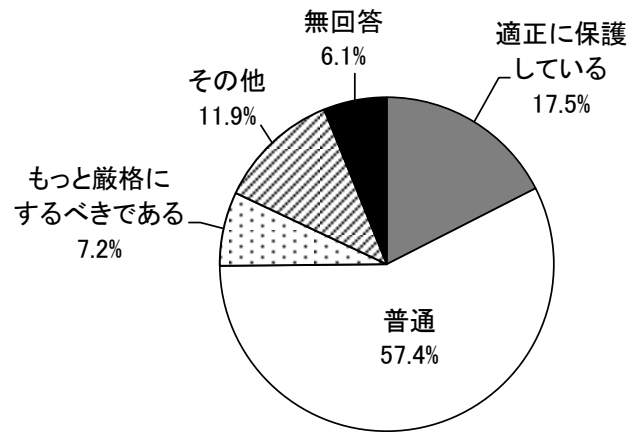
No.	カテゴリー名	n	%
1	知っている	1343	83.0
2	知らない	208	12.9
	無回答	67	4.1
	全体	1618	100.0



第1章第1節 単数回答設問グラフ

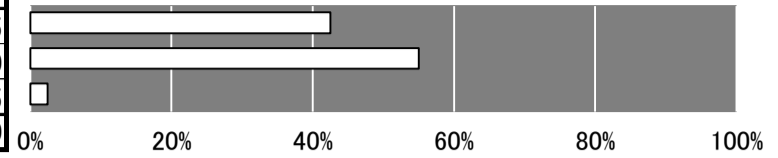
問22 江別市は適正に個人情報保護していると思うか

No.	カテゴリー名	n	%
1	適正に保護している	283	17.5
2	普通	928	57.4
3	もっと厳格にするべきである	116	7.2
4	その他	192	11.9
	無回答	99	6.1
	全体	1618	100.0



問1 性別

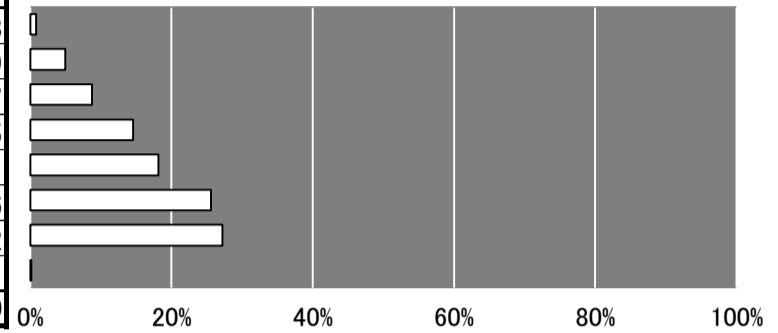
No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	688	42.5
2	女性	890	55.0
	無回答	40	2.5
	全体	1618	100.0



性別については、「女性」が55.0%、「男性」が42.5%となっている。

問2 年代

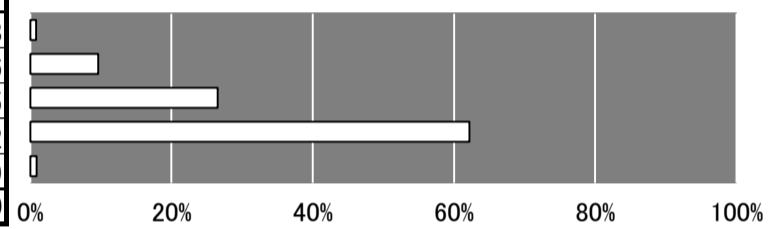
No.	カテゴリー名	n	%
1	10代	13	0.8
2	20代	80	4.9
3	30代	141	8.7
4	40代	235	14.5
5	50代	293	18.1
6	60代	414	25.6
7	70代以上	440	27.2
	無回答	2	0.1
	全体	1618	100.0



年代については、「70代以上」が27.2%、「60代」が25.6%となっており、60歳以上が半数を占めている。

問3 「江別市自治基本条例」を知っているか

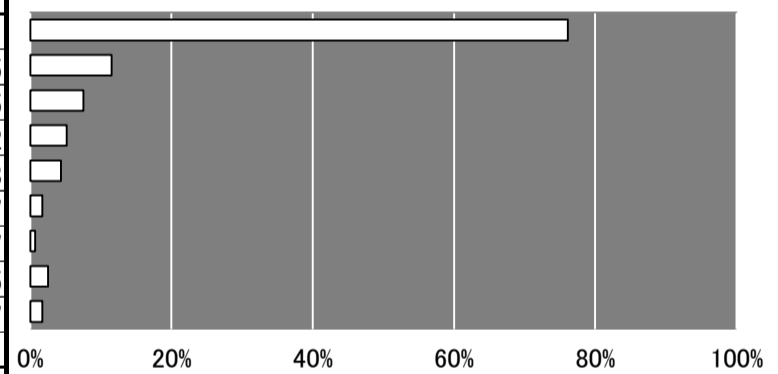
No.	カテゴリー名	n	%
1	内容までよく知っている	13	0.8
2	どのようなものかある程度知っている	156	9.6
3	名前は聞いたことがある	429	26.5
4	まったく知らない	1006	62.2
	無回答	14	0.9
	全体	1618	100.0



「江別市市民参加条例」を知っているかについては、「まったく知らない」が62.2%となっており、「内容までよく知っている」は0.8%にとどまっている。

問4 「江別市自治基本条例」を何で知ったか

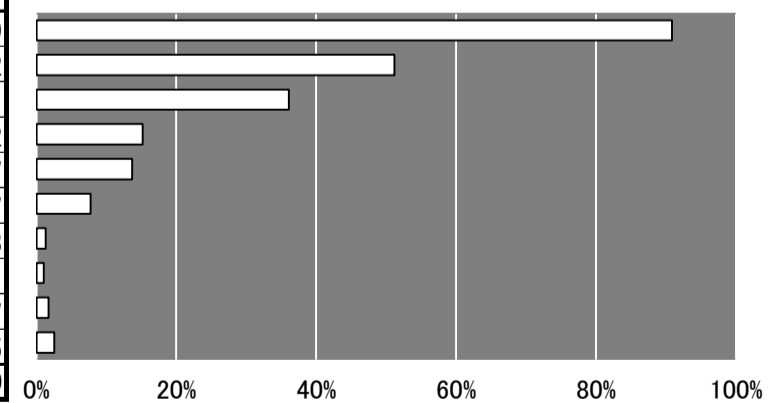
No.	カテゴリー名	n	%
1	広報えべつ	455	76.1
3	市のパンフレットやリーフレット	69	11.5
2	市のホームページ	45	7.5
7	知人や家族を通じて	31	5.2
4	新聞	26	4.3
5	情報公開コーナー	10	1.7
6	出前講座	4	0.7
8	その他	15	2.5
	無回答	10	1.7
	非該当	1020	
	全体	598	100.0



「江別市自治基本条例」を何で知ったかについては、「広報えべつ」が76.1%で最も高く、次いで「市のパンフレットやリーフレット」が11.5%、「市のホームページ」が7.5%などとなっている。

問5 江別市でお知らせしている情報の入手手段

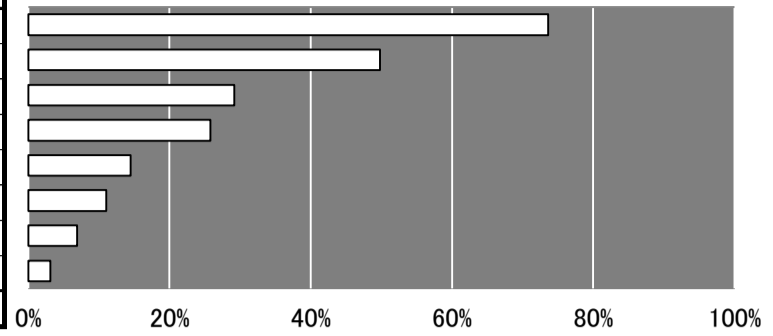
No.	カテゴリー名	n	%
1	広報えべつ	1470	90.9
7	自治会回覧	828	51.2
4	新聞	584	36.1
3	市のパンフレットやリーフレット	246	15.2
2	市のホームページ	221	13.7
8	知人を通じて	125	7.7
5	情報公開コーナー	21	1.3
6	出前講座	17	1.1
9	その他	28	1.7
	無回答	41	2.5
	全体	1618	100.0



江別市でお知らせしている情報の入手手段については、「広報えべつ」が90.9%で最も高く、次いで「自治会回覧」が51.2%、「新聞」が36.1%などとなっている。
一方、「市のホームページ」は13.7%となっている。

問6 まちづくりに関する情報を得やすくするために必要なこと

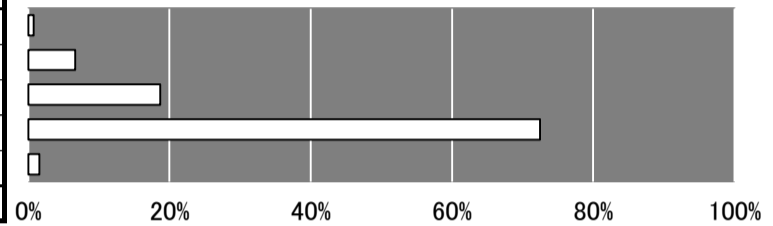
No.	カテゴリー名	n	%
5	広報えべつの内容を充実させる	1191	73.6
1	まちづくりに関する情報をどこで得られるのか周知する	806	49.8
4	パンフレットやリーフレットの配布場所を増やす	472	29.2
2	まちづくりに関する情報を集めたホームページを整備する	417	25.8
3	まちづくりに関する情報を集めた施設を整備する	234	14.5
6	まちづくりに関するセミナーを開催する	179	11.1
7	その他	112	6.9
	無回答	50	3.1
	全体	1618	100.0



まちづくりに関する情報を得やすくするために必要なことについては、「広報えべつの内容を充実させる」が73.6%で最も高く、次いで「まちづくりに関する情報をどこで得られるのか周知する」が49.8%となっており、「広報えべつ」の情報が注目されていることがうかがえる。

問7 「江別市市民参加条例」が昨年10月に施行されたことを知っているか

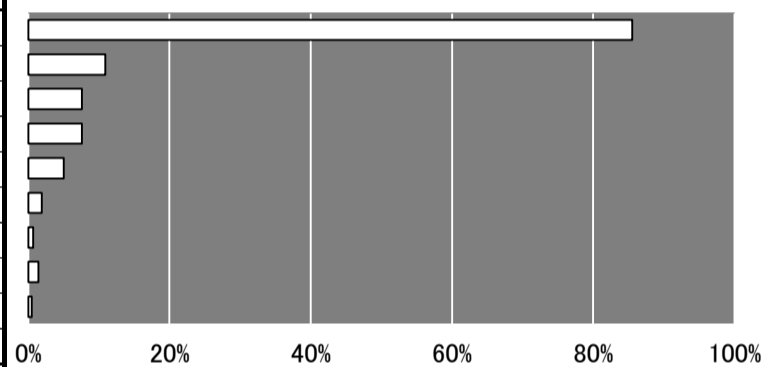
No.	カテゴリー名	n	%
1	内容までよく知っている	12	0.7
2	どのようなものかある程度知っている	107	6.6
3	名前は聞いたことがある	302	18.7
4	まったく知らない	1172	72.4
	無回答	25	1.5
	全体	1618	100.0



「江別市市民参加条例」が昨年10月に施行されたことを知っているかについては、「まったく知らない」が72.4%と7割を超えている。
一方、「内容までよく知っている」は0.7%にとどまっている。

問8 「江別市市民参加条例」を何で知ったか

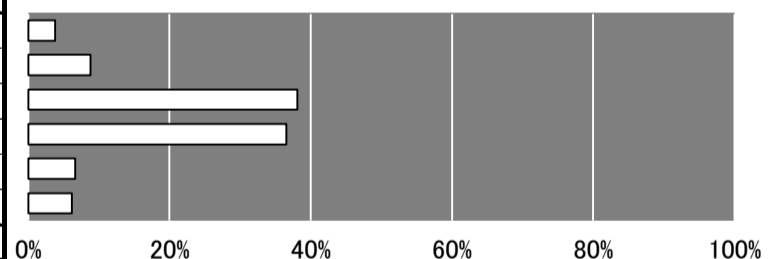
No.	カテゴリー名	n	%
1	広報えべつ	360	85.5
2	市のホームページ	46	10.9
3	市のパンフレットやリーフレット	32	7.6
4	新聞	32	7.6
7	知人や家族を通じて	21	5.0
5	情報公開コーナー	8	1.9
6	出前講座	3	0.7
8	その他	6	1.4
	無回答	2	0.5
	非該当	1197	
	全体	421	100.0



「江別市市民参加条例」を何で知ったかについては、「広報えべつ」が85.5%で最も高く、次いで「市のホームページ」が10.9%、「市のパンフレットやリーフレット」が7.6%などとなっている。

問9 市民参加の機会が十分にあると思うか

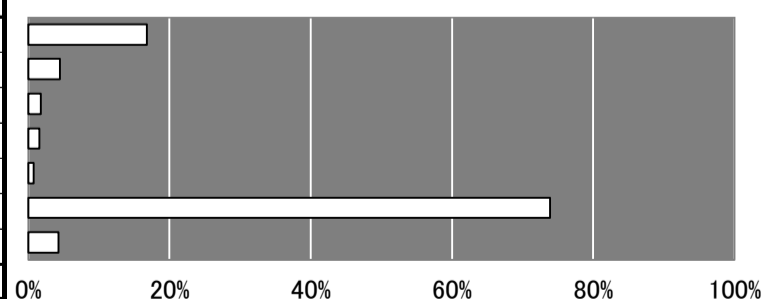
No.	カテゴリー名	n	%
1	十分あると思う	61	3.8
2	やや思う	142	8.8
3	普通	616	38.1
4	あまり機会があると思わない	591	36.5
5	まったく思わない	108	6.7
	無回答	100	6.2
	全体	1618	100.0



市民参加の機会が十分にあると思うかについては、「十分あると思う」と「やや思う」を合わせた“思う”は12.6%となっている。
一方、「あまり機会があると思わない」と「まったく思わない」を合わせた“思わない”は43.2%となっている。

問10 これまでに参加したことがあるもの

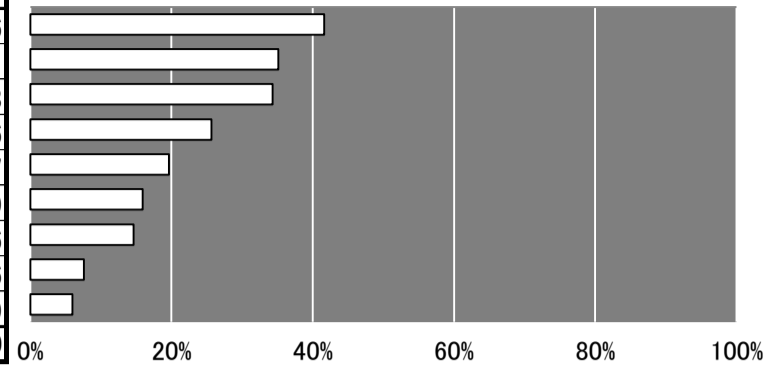
No.	カテゴリー名	n	%
5	アンケート調査	272	16.8
3	市民説明会	72	4.4
1	附属機関等	29	1.8
4	ワークショップ	25	1.5
2	パブリックコメント	12	0.7
6	参加したことがない	1195	73.9
	無回答	69	4.3
	全体	1618	100.0



これまでに参加したことがあるものについては、「アンケート調査」が16.8%で最も高く、次いで「市民説明会」が4.4%、「附属機関等」が1.8%などとなっている。
「参加したことがない」は73.9%と、7割を超えている。

問11 市民参加を推進するために有効なこと

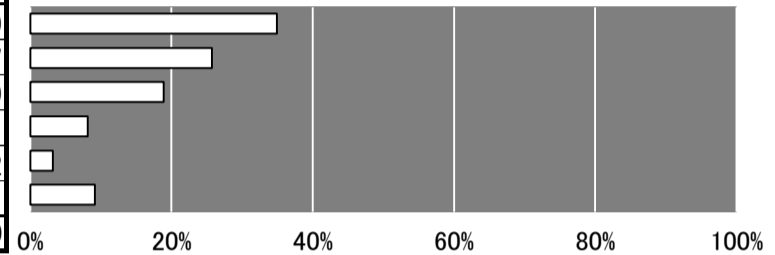
No.	カテゴリー名	n	%
5	アンケート調査	673	41.6
3	市民説明会	568	35.1
6	市に意見が出せる制度	555	34.3
7	市民が話し合える場	415	25.6
2	パブリックコメント	318	19.7
4	ワークショップ	257	15.9
1	附属機関等	237	14.6
8	その他	123	7.6
	無回答	96	5.9
	全体	1618	100.0



市民参加を推進するために有効なことについては、「アンケート調査」が41.6%で最も高く、次いで「市民説明会」が35.1%、「市に意見が出せる制度」が34.3%などとなっている。

問12 多くの市民に参加してもらうために必要なこと (1) 附属機関等

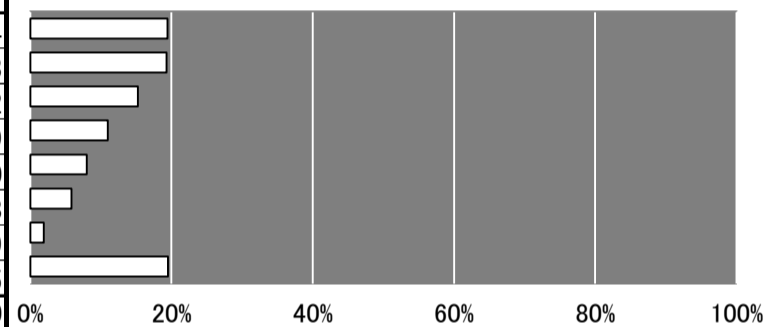
No.	カテゴリー名	n	%
3	参加方法を分かりやすく知らせる	565	34.9
1	制度自体のPRを行う	416	25.7
4	意見がどのように反映されるか知らせる	306	18.9
2	開催する時間帯を工夫する	131	8.1
5	その他	52	3.2
	無回答	148	9.1
	全体	1618	100.0



多くの市民に参加してもらうために必要なことの附属機関等については、「参加方法を分かりやすく知らせる」が34.9%、「制度自体のPRを行う」が25.7%、「意見がどのように反映されるか知らせる」が18.9%などとなっている。

問12 多くの市民に参加してもらうために必要なこと (2) パブリックコメント

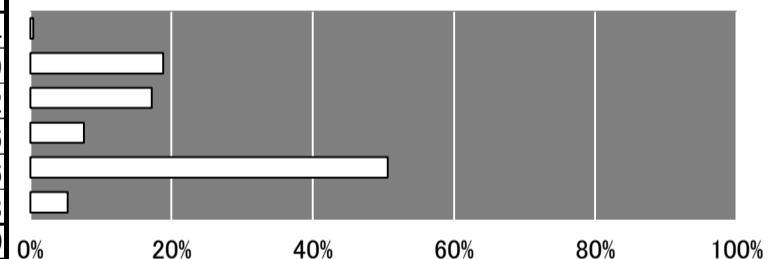
No.	カテゴリー名	n	%
5	計画や方針の内容を分かりやすく知らせる	314	19.4
1	制度自体のPRを行う	312	19.3
2	簡単に意見を出せるようにする	246	15.2
6	提出した意見がどのように反映されるのか知らせる	177	10.9
3	意見の提出方法を分かりやすくする	129	8.0
4	意見を出せる機会を増やす	94	5.8
7	その他	31	1.9
	無回答	315	19.5
	全体	1618	100.0



多くの市民に参加してもらうために必要なことのパブリックコメントについては、「計画や方針の内容を分かりやすく知らせる」が19.4%、「制度自体のPRを行う」が19.3%、「簡単に意見を出せるようにする」が15.2%などとなっている。

問14 江別市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思うか

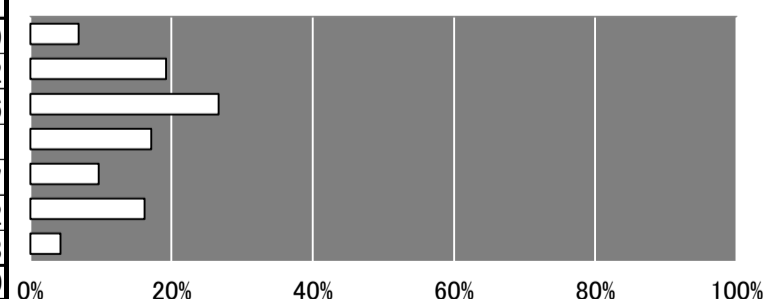
No.	カテゴリー名	n	%
1	非常に進んでいる	7	0.4
2	進んでいる方である	305	18.9
3	あまり進んでいない	278	17.2
4	進んでいない	123	7.6
5	分からない	819	50.6
	無回答	86	5.3
	全体	1618	100.0



江別市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思うかについては、「非常に進んでいる」と「進んでいる方である」を合わせた“進んでいる”は19.3%となっている。
一方、「あまり進んでいない」と「進んでいない」を合わせた“進んでいない”は24.8%となっている。
「分からない」が50.6%と、半数を超えている。

問15 まちづくり活動に参加したことがあるか

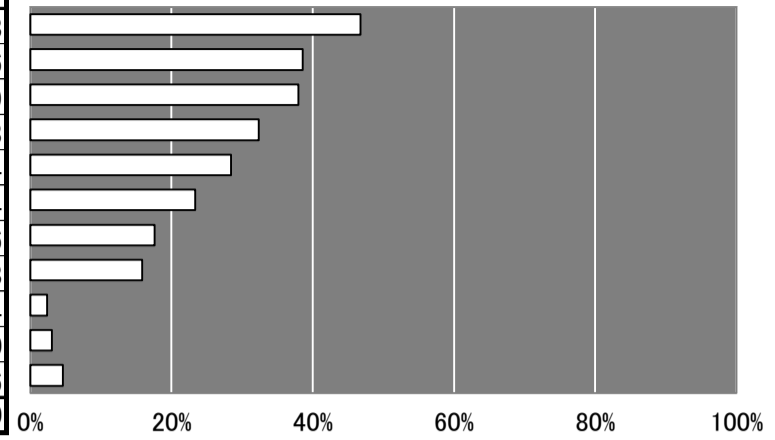
No.	カテゴリー名	n	%
1	現在も積極的に参加している	111	6.9
2	現在もときどき参加している	311	19.2
3	過去に参加したことがある	431	26.6
4	参加したことはないが、今後参加してみたい	277	17.1
5	参加したいと思わない	157	9.7
6	どちらともいえない	262	16.2
	無回答	69	4.3
	全体	1618	100.0



まちづくり活動に参加したことがあるかについては、「現在も積極的に参加している」と「現在もときどき参加している」、「過去に参加したことがある」を合わせた“参加したことがある”は52.7%と半数を超えている。
一方、「参加したことはないが、今後参加してみたい」と「参加したいと思わない」を合わせた“参加したことがない”は26.8%となっている。

問16 まちづくり活動に参加するにあたって必要なこと

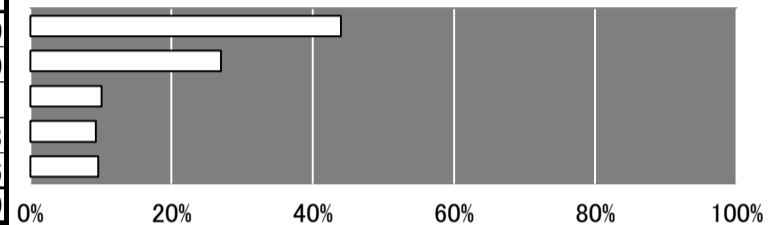
No.	カテゴリー名	n	%
5	参加するきっかけ	757	46.8
1	時間	624	38.6
8	関心や興味	614	37.9
3	健康や体力	523	32.3
7	活動団体や活動内容に関する情報	460	28.4
6	一緒に活動する仲間	378	23.4
2	活動する場所	285	17.6
4	参加するための知識・技術	256	15.8
9	条例・規則などによる仕組み	39	2.4
10	その他	49	3.0
	無回答	75	4.6
	全体	1618	100.0



まちづくり活動に参加するにあたって必要なことについては、「参加するきっかけ」が46.8%で最も高く、次いで「時間」が38.6%、「関心や興味」が37.9%などとなっている。「条例・規則などによる仕組み」は2.4%となっている。

問17 「活動する場所」として次の施設を知っているか(1)公民館・住区会館(自治会館)

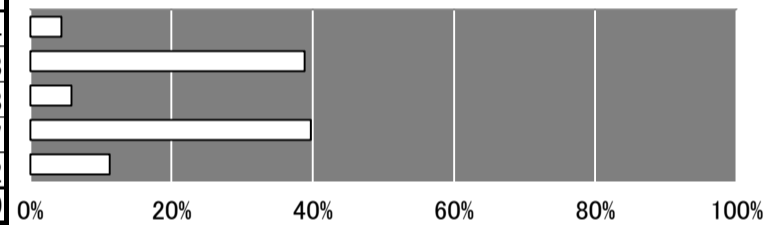
No.	カテゴリー名	n	%
1	利用している	712	44.0
2	利用したことがない	437	27.0
3	今後利用してみたい	163	10.1
4	知らない	150	9.3
	無回答	156	9.6
	全体	1618	100.0



「活動する場所」として次の施設を知っているかの公民館・住区会館については、「利用している」が44.0%、「利用したことがない」が27.0%となっている。

問17 「活動する場所」として次の施設を知っているか(2)江別市民活動センター・あい

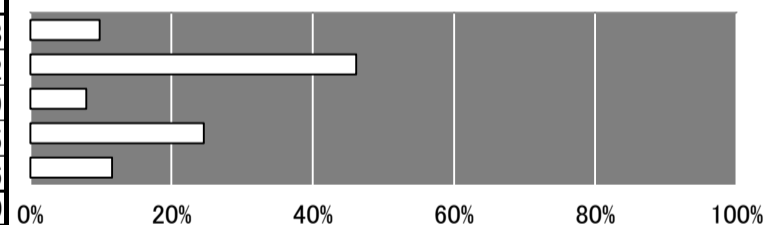
No.	カテゴリー名	n	%
1	利用している	71	4.4
2	利用したことがない	628	38.8
3	今後利用してみたい	94	5.8
4	知らない	643	39.7
	無回答	182	11.2
	全体	1618	100.0



「活動する場所」として次の施設を知っているかの江別市民活動センター・あいについては、「利用したことがない」が38.8%、「利用している」が4.4%となっている。また、「知らない」が39.7%となっている。

問17 「活動する場所」として次の施設を知っているか(3)江別市社会福祉協議会

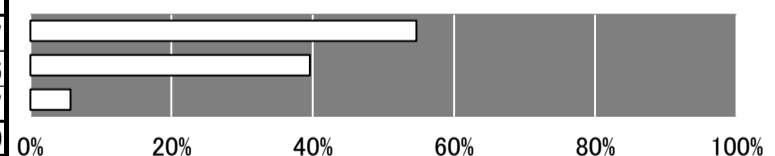
No.	カテゴリー名	n	%
1	利用している	159	9.8
2	利用したことがない	747	46.2
3	今後利用してみたい	128	7.9
4	知らない	397	24.5
	無回答	187	11.6
	全体	1618	100.0



「活動する場所」として次の施設を知っているかの江別市社会福祉協議会については、「利用したことがない」が46.2%、「利用している」が9.8%となっている。

問19 情報公開制度があることを知っているか

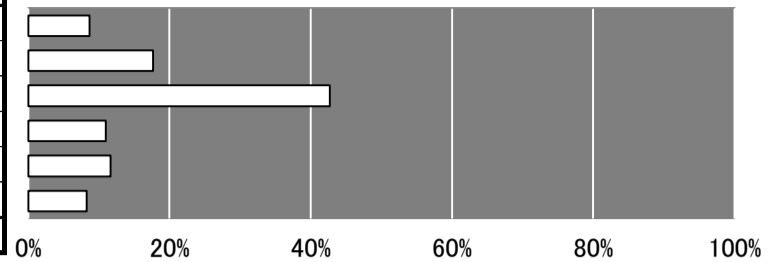
No.	カテゴリー名	n	%
1	知っている	885	54.7
2	知らない	641	39.6
	無回答	92	5.7
	全体	1618	100.0



情報公開制度があることを知っているかについては、「知っている」が54.7%と、「知らない」の39.6%を上回っている。

問20 江別市は適正に情報を公開していると思うか

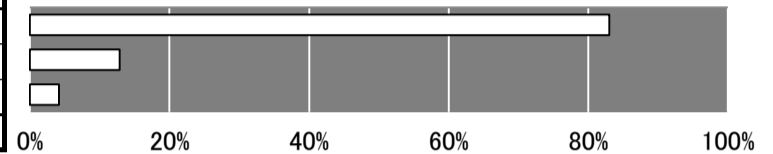
No.	カテゴリー名	n	%
1	適正に公開していると思う	140	8.7
2	まあまあ公開していると思う	286	17.7
3	普通	691	42.7
4	足りない	178	11.0
5	その他	189	11.7
	無回答	134	8.3
	全体	1618	100.0



江別市は適正に情報を公開していると思うかについては、「適正に公開していると思う」と「まあまあ公開していると思う」を合わせた“公開している”は26.4%となっている。
一方、「足りない」が11.0%、「普通」が42.7%となっている。

問21 個人情報保護制度があることを知っているか

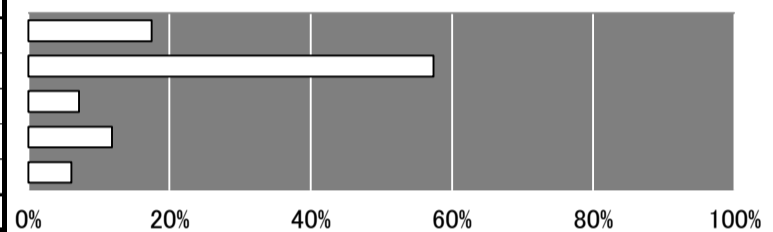
No.	カテゴリー名	n	%
1	知っている	1343	83.0
2	知らない	208	12.9
	無回答	67	4.1
	全体	1618	100.0



個人情報保護制度があることを知っているかについては、「知っている」が83.0%と、8割を超えている。

問22 江別市は適正に個人情報を保護していると思うか

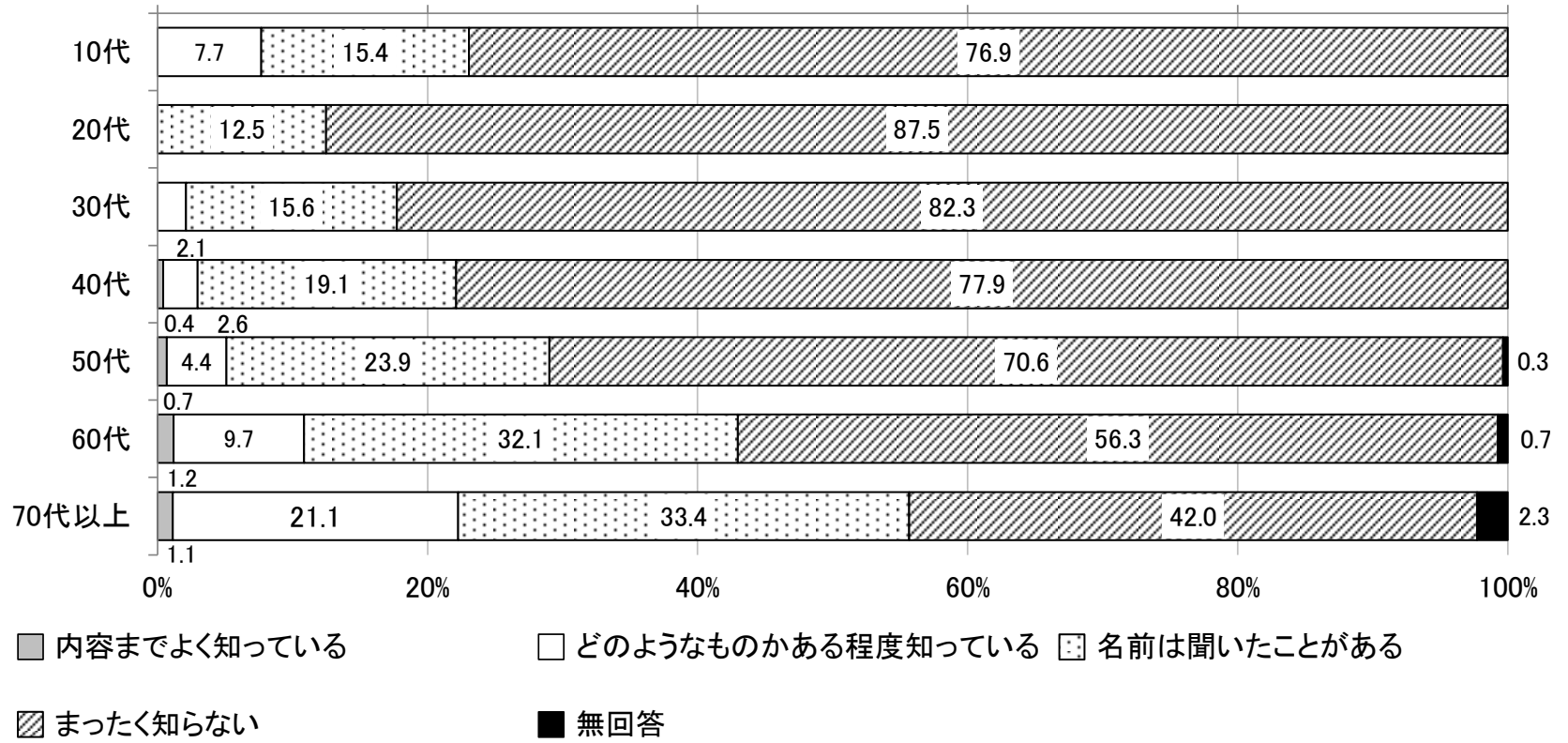
No.	カテゴリー名	n	%
1	適正に保護している	283	17.5
2	普通	928	57.4
3	もっと厳格にするべきである	116	7.2
4	その他	192	11.9
	無回答	99	6.1
	全体	1618	100.0



江別市は適正に個人情報を保護していると思うかについては、「適正に保護している」が17.5%、「もっと厳格にするべきである」が7.2%となっている。

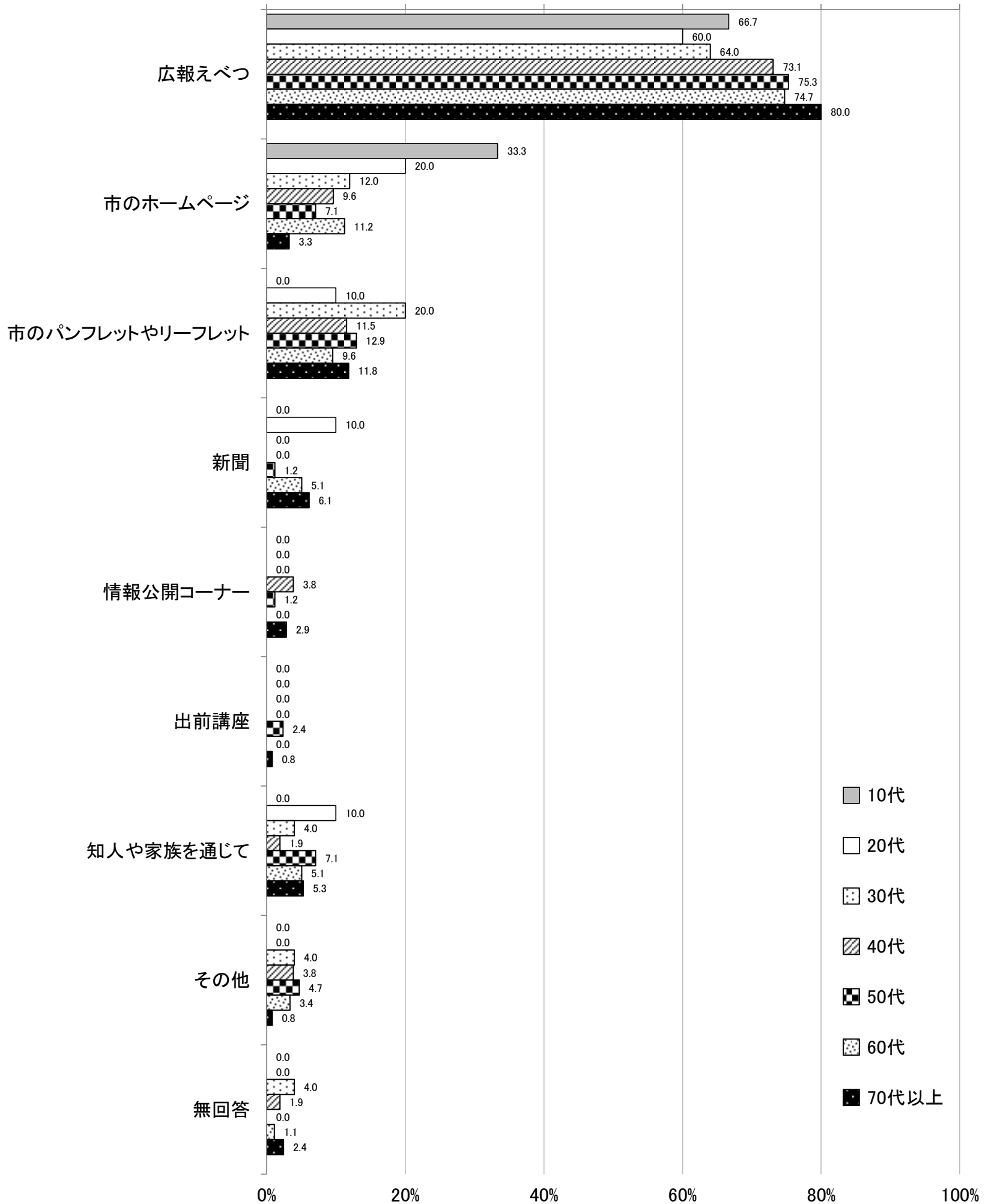
問3 「江別市自治基本条例」を知っているか

	内容までよく知っている	どのようなものかある程度知っている	名前は聞いたことがある	まったく知らない	無回答
10代	0.0	7.7	15.4	76.9	0.0
20代	0.0	0.0	12.5	87.5	0.0
30代	0.0	2.1	15.6	82.3	0.0
40代	0.4	2.6	19.1	77.9	0.0
50代	0.7	4.4	23.9	70.6	0.3
60代	1.2	9.7	32.1	56.3	0.7
70代以上	1.1	21.1	33.4	42.0	2.3



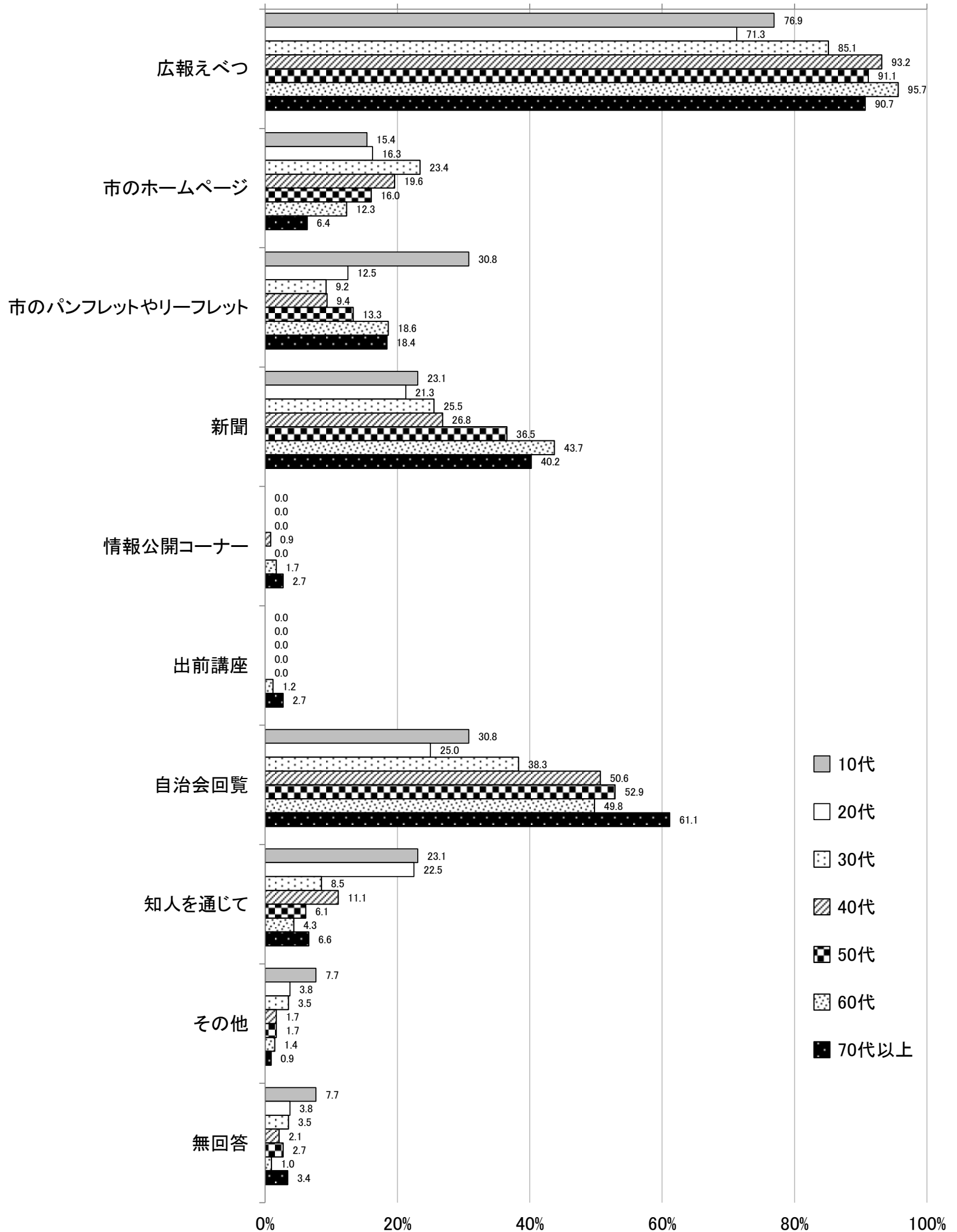
問4 「江別市自治基本条例」を何で知ったか

	広報えべつ	市のホームページ	市のパンフレットやリーフレット	新聞	情報公開コーナー	出前講座	知人や家族を通じて	その他	無回答
10代	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	60.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
30代	64.0	12.0	20.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	4.0
40代	73.1	9.6	11.5	0.0	3.8	0.0	1.9	3.8	1.9
50代	75.3	7.1	12.9	1.2	1.2	2.4	7.1	4.7	0.0
60代	74.7	11.2	9.6	5.1	0.0	0.0	5.1	3.4	1.1
70代以上	80.0	3.3	11.8	6.1	2.9	0.8	5.3	0.8	2.4



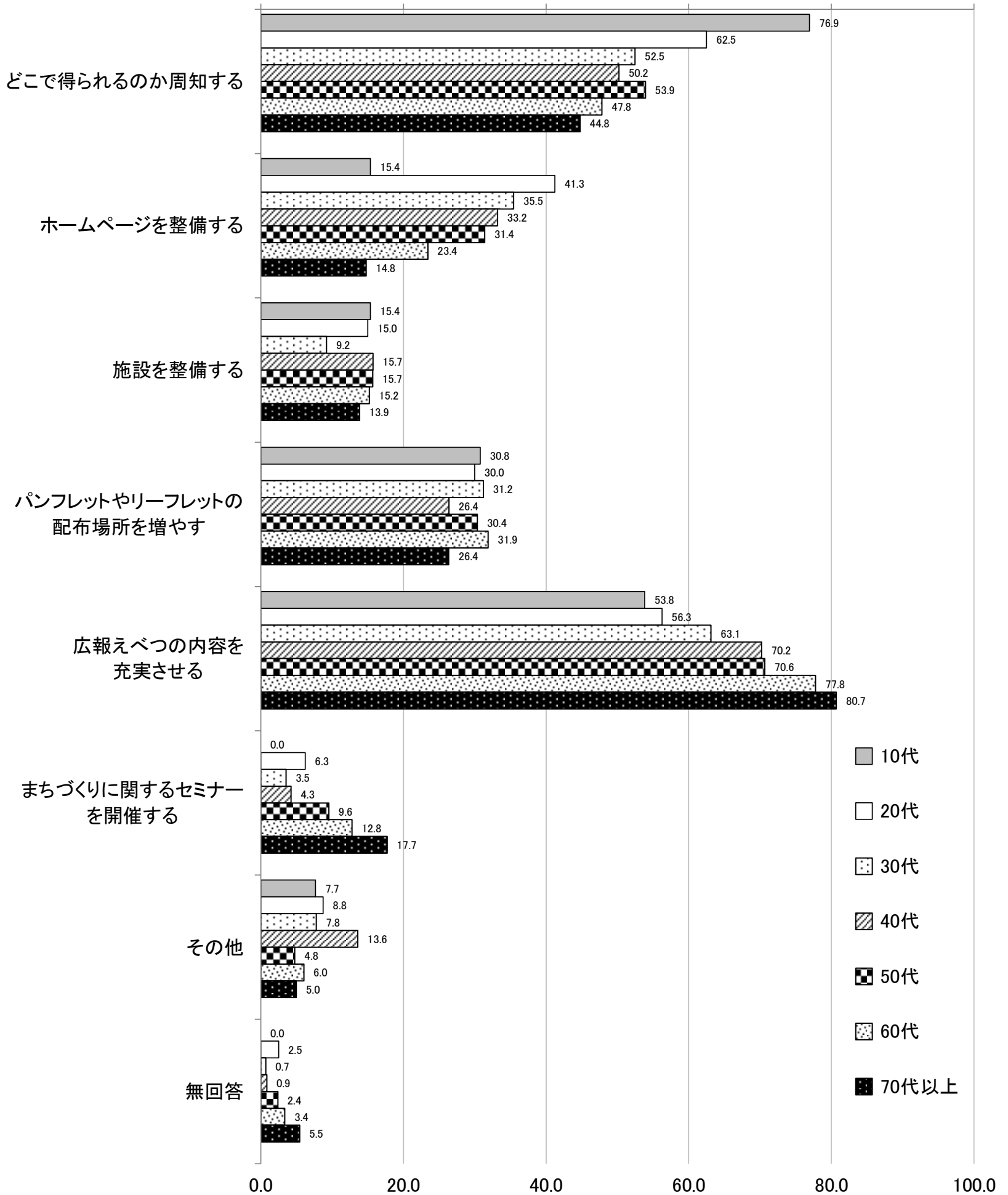
問5 江別市でお知らせしている情報の入手手段

	広報えべつ	市のホームページ	市のパンフレットやリーフレット	新聞	情報公開コーナー	出前講座	自治会回覧	知人を通じて	その他	無回答
10代	76.9	15.4	30.8	23.1	0.0	0.0	30.8	23.1	7.7	7.7
20代	71.3	16.3	12.5	21.3	0.0	0.0	25.0	22.5	3.8	3.8
30代	85.1	23.4	9.2	25.5	0.0	0.0	38.3	8.5	3.5	3.5
40代	93.2	19.6	9.4	26.8	0.9	0.0	50.6	11.1	1.7	2.1
50代	91.1	16.0	13.3	36.5	0.0	0.0	52.9	6.1	1.7	2.7
60代	95.7	12.3	18.6	43.7	1.7	1.2	49.8	4.3	1.4	1.0
70代以上	90.7	6.4	18.4	40.2	2.7	2.7	61.1	6.6	0.9	3.4



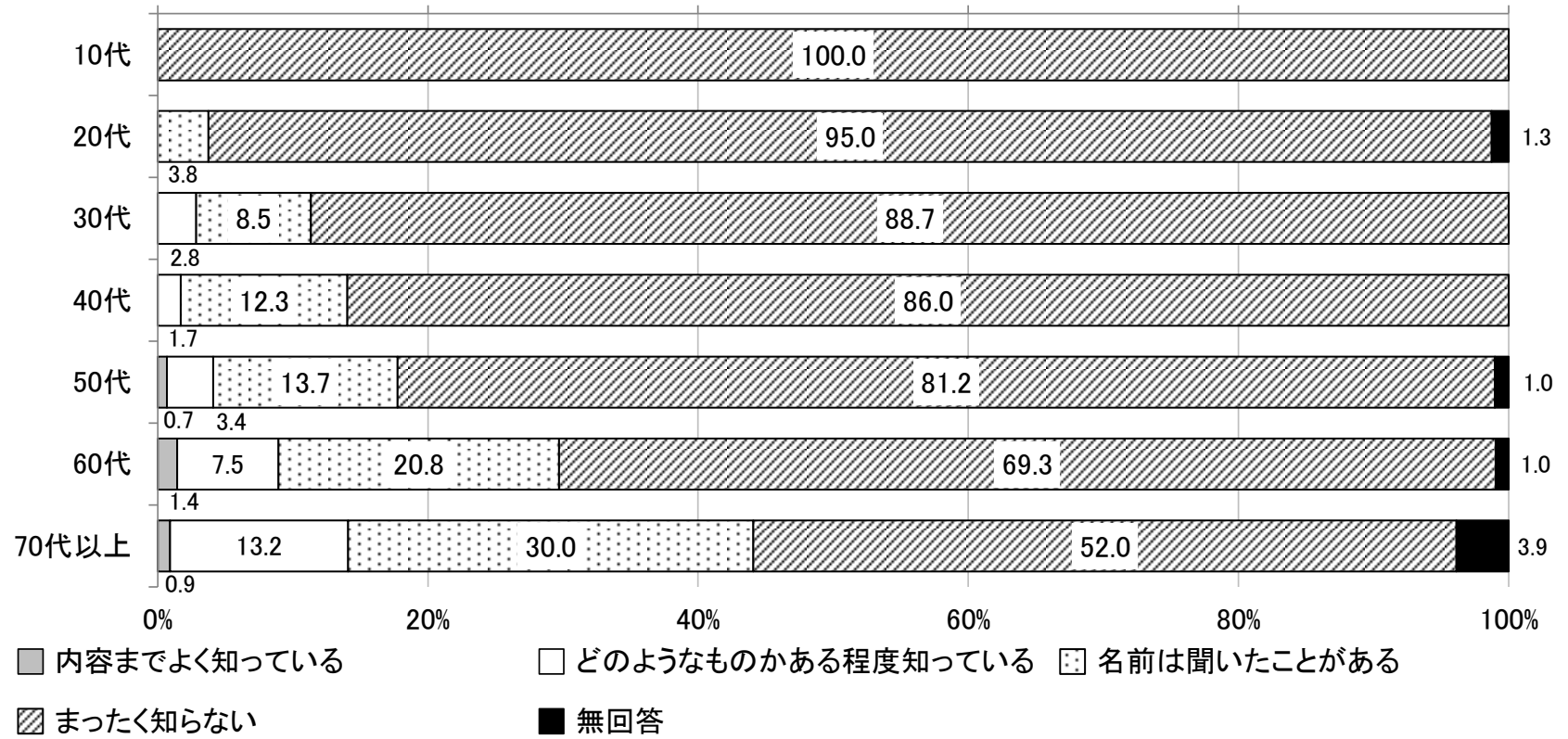
問6 まちづくりに関する情報を得やすくするために必要なこと

	どこで得られるのか周知する	ホームページを整備する	施設を整備する	パンフレットやリーフレットの配布場所を増やす	広報イベントの内容を充実させる	まちづくりに関するセミナーを開催する	その他	無回答
10代	76.9	15.4	15.4	30.8	53.8	0.0	7.7	0.0
20代	62.5	41.3	15.0	30.0	56.3	6.3	8.8	2.5
30代	52.5	35.5	9.2	31.2	63.1	3.5	7.8	0.7
40代	50.2	33.2	15.7	26.4	70.2	4.3	13.6	0.9
50代	53.9	31.4	15.7	30.4	70.6	9.6	4.8	2.4
60代	47.8	23.4	15.2	31.9	77.8	12.8	6.0	3.4
70代以上	44.8	14.8	13.9	26.4	80.7	17.7	5.0	5.5



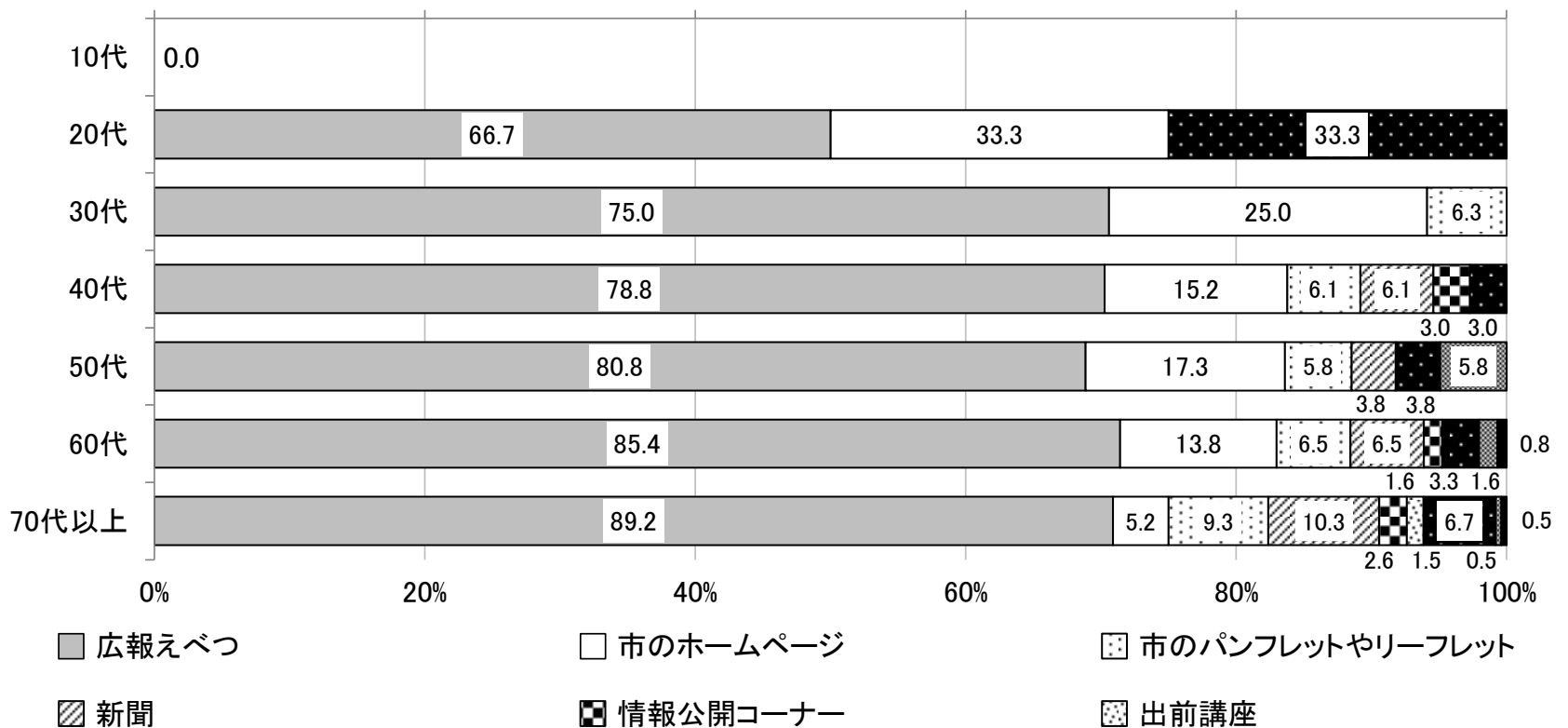
問7 「江別市市民参加条例」が昨年10月に施行されたことを知っているか

	内容までよく知っている	どのようなものかある程度知っている	名前は聞いたことがある	まったく知らない	無回答
10代	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20代	0.0	0.0	3.8	95.0	1.3
30代	0.0	2.8	8.5	88.7	0.0
40代	0.0	1.7	12.3	86.0	0.0
50代	0.7	3.4	13.7	81.2	1.0
60代	1.4	7.5	20.8	69.3	1.0
70代以上	0.9	13.2	30.0	52.0	3.9



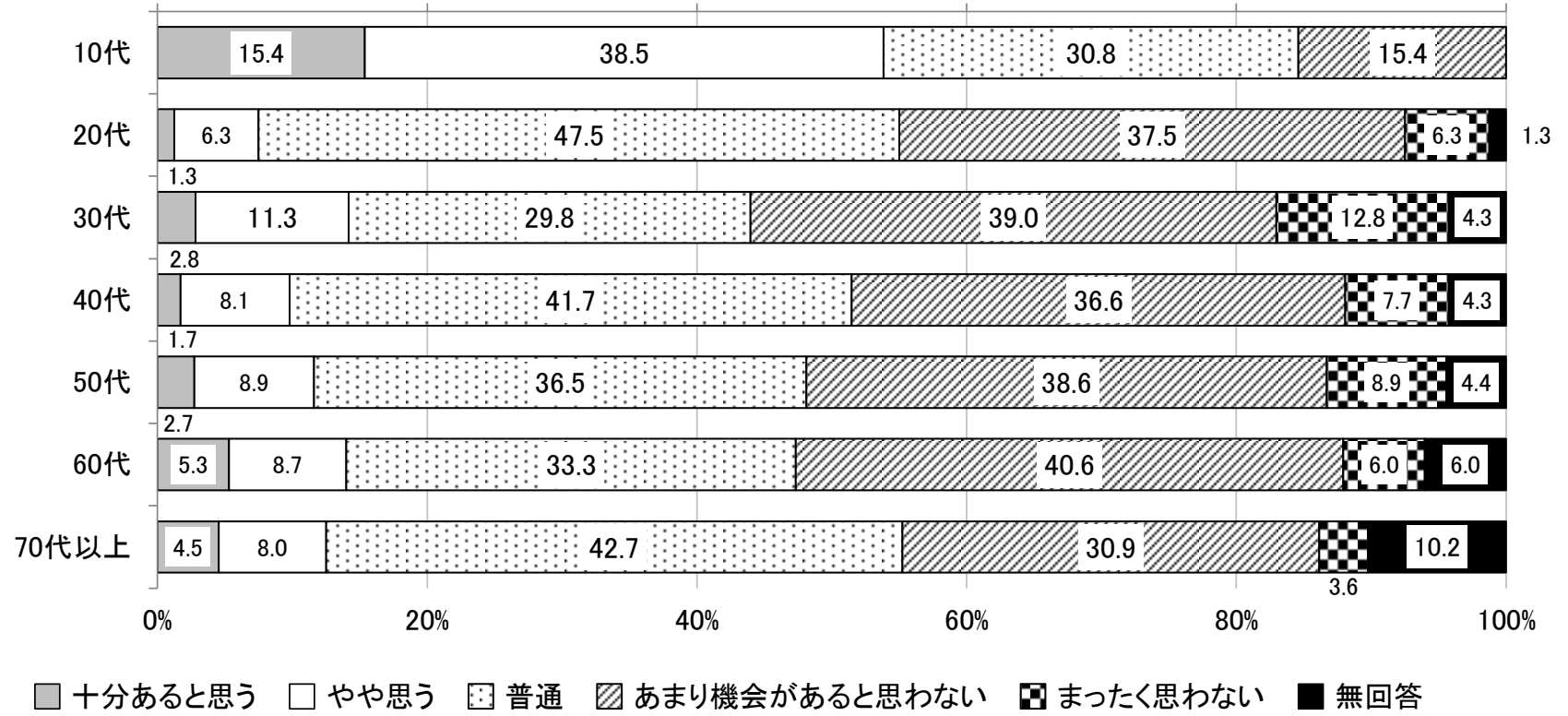
問8 「江別市市民参加条例」を何で知ったか

	広報えべつ	市のホームページ	市のパンフレットやリーフレット	新聞	情報公開コーナー	出前講座	知人や家族を通じて	その他	無回答
10代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
30代	75.0	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	78.8	15.2	6.1	6.1	3.0	0.0	3.0	0.0	0.0
50代	80.8	17.3	5.8	3.8	0.0	0.0	3.8	5.8	0.0
60代	85.4	13.8	6.5	6.5	1.6	0.0	3.3	1.6	0.8
70代以上	89.2	5.2	9.3	10.3	2.6	1.5	6.7	0.5	0.5



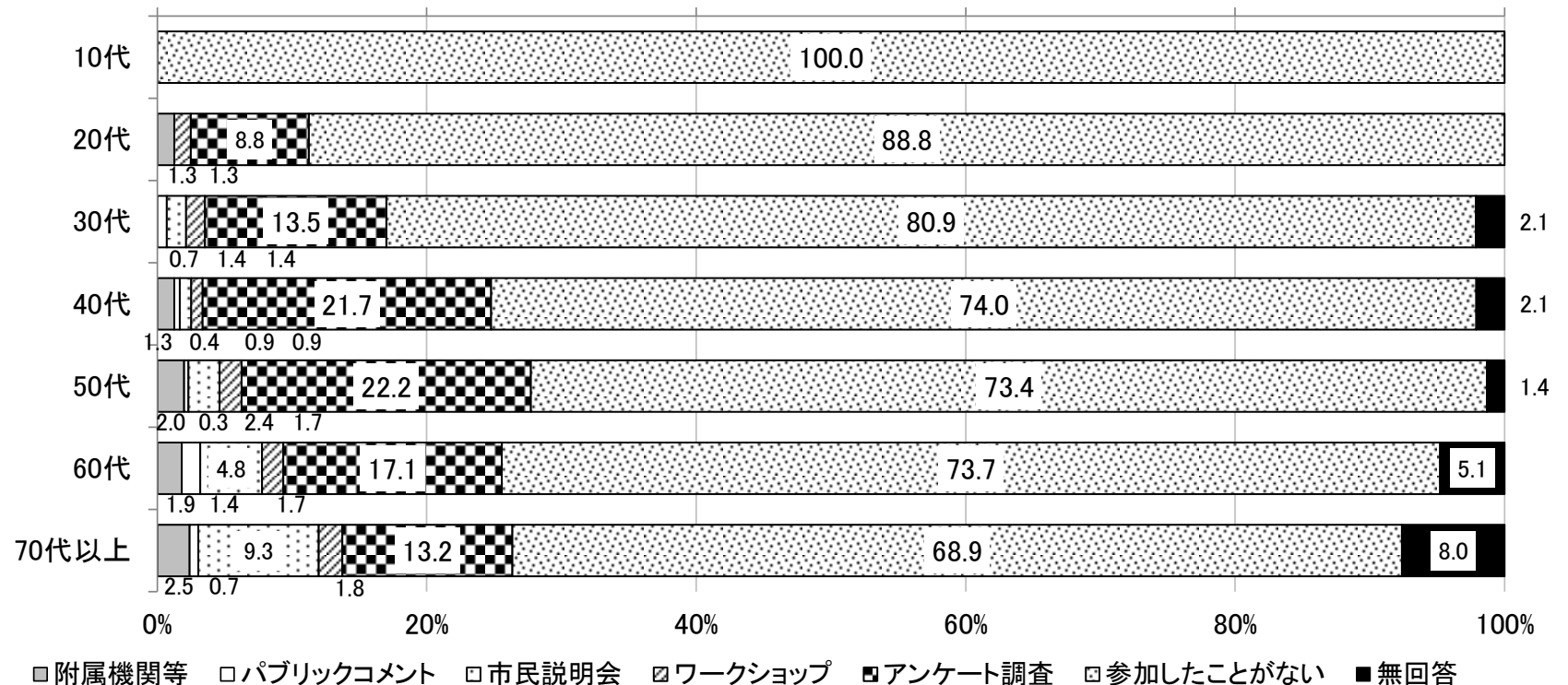
問9 市民参加の機会が十分にあると思うか

	十分あると思う	やや思う	普通	あまり機会があると思わない	まったく思わない	無回答
10代	15.4	38.5	30.8	15.4	0.0	0.0
20代	1.3	6.3	47.5	37.5	6.3	1.3
30代	2.8	11.3	29.8	39.0	12.8	4.3
40代	1.7	8.1	41.7	36.6	7.7	4.3
50代	2.7	8.9	36.5	38.6	8.9	4.4
60代	5.3	8.7	33.3	40.6	6.0	6.0
70代以上	4.5	8.0	42.7	30.9	3.6	10.2



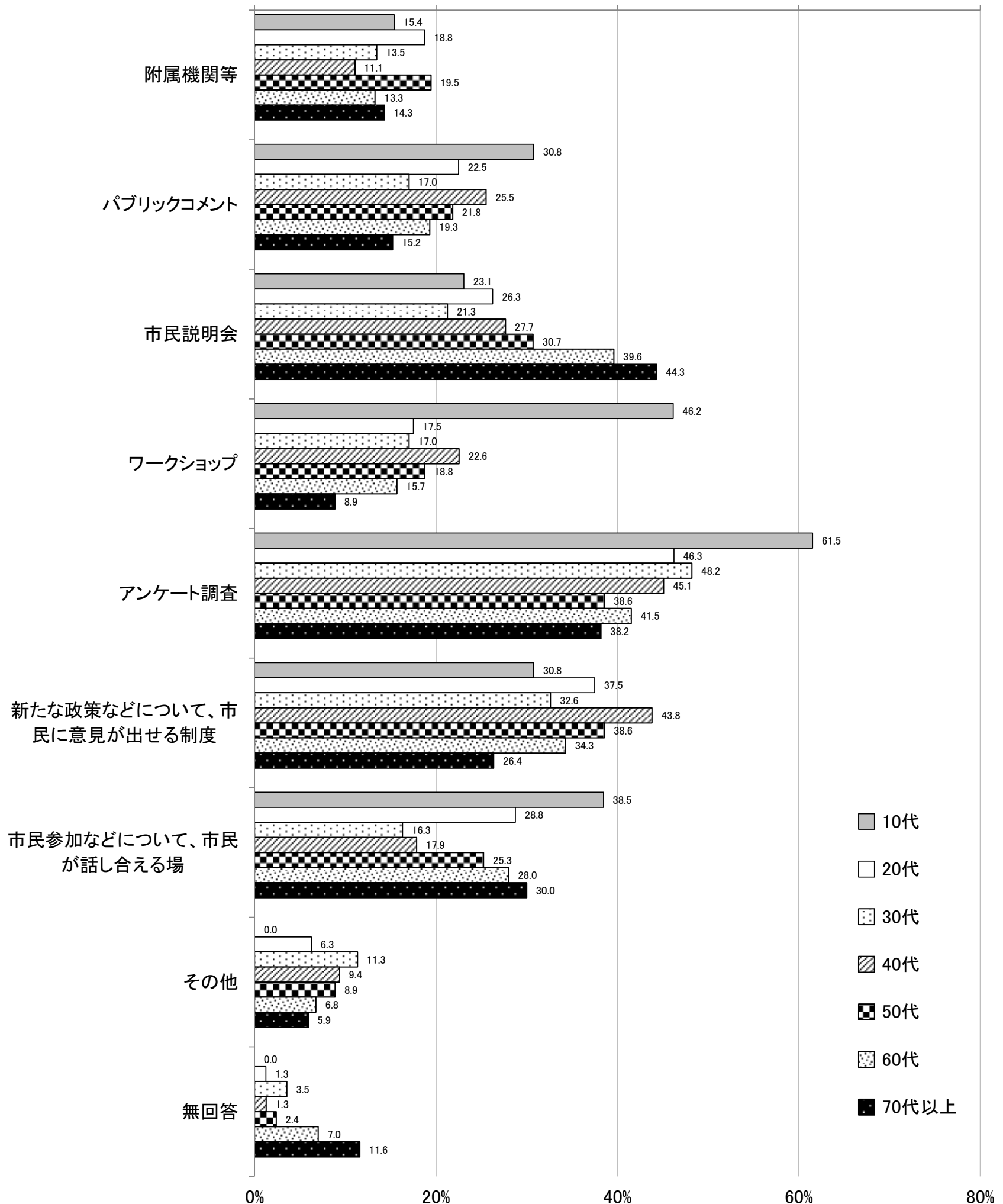
問10 これまでに参加したことがあるもの

	附属機関等	パブリックコメント	市民説明会	ワークショップ	アンケート調査	参加したことがない	無回答
10代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20代	1.3	0.0	0.0	1.3	8.8	88.8	0.0
30代	0.0	0.7	1.4	1.4	13.5	80.9	2.1
40代	1.3	0.4	0.9	0.9	21.7	74.0	2.1
50代	2.0	0.3	2.4	1.7	22.2	73.4	1.4
60代	1.9	1.4	4.8	1.7	17.1	73.7	5.1
70代以上	2.5	0.7	9.3	1.8	13.2	68.9	8.0



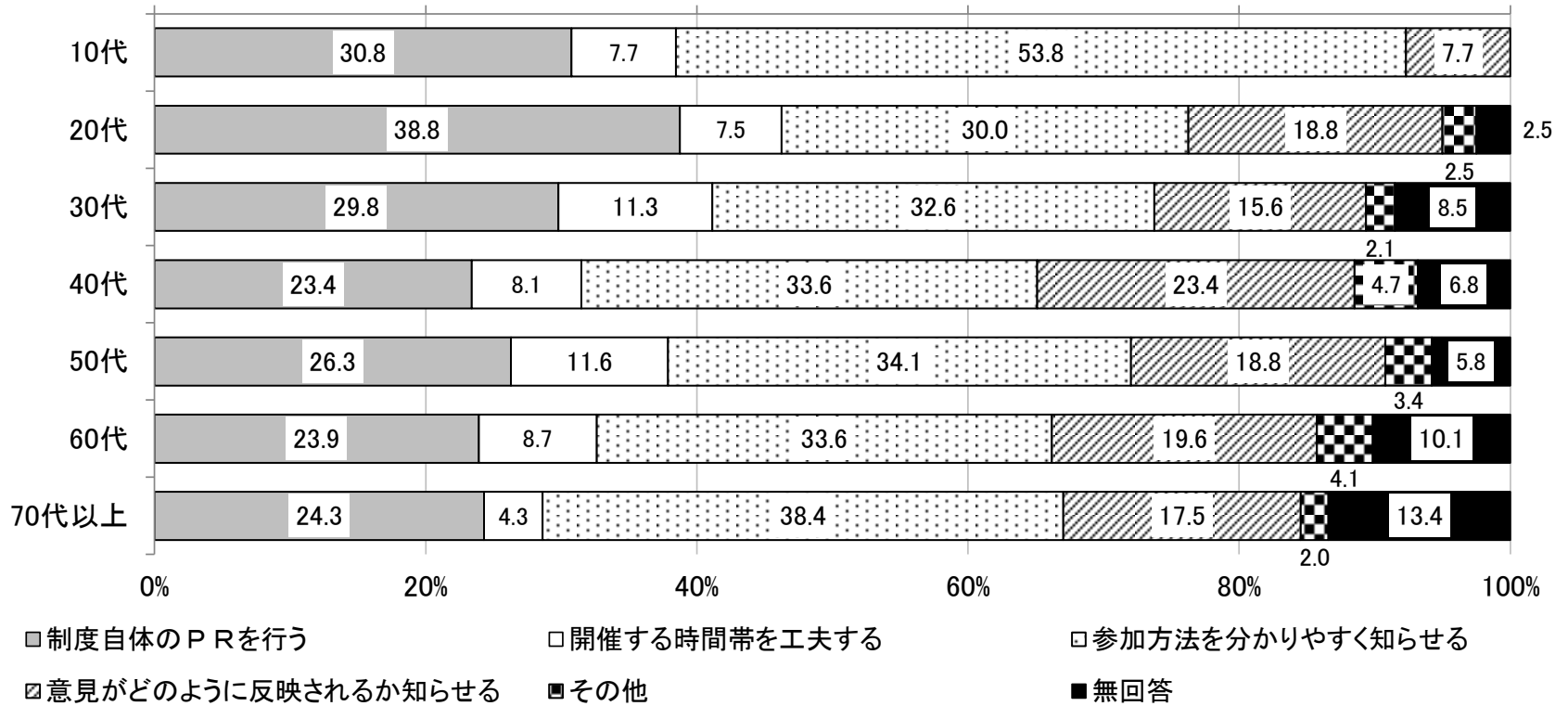
問11 市民参加を推進するために有効なこと

	附属機関等	パブリックコメント	市民説明会	ワークショップ	アンケート調査	新たな政策などについて、市民に意見が出せる制度	市民参加などについて、市民が話し合える場	その他	無回答
10代	15.4	30.8	23.1	46.2	61.5	30.8	38.5	0.0	0.0
20代	18.8	22.5	26.3	17.5	46.3	37.5	28.8	6.3	1.3
30代	13.5	17.0	21.3	17.0	48.2	32.6	16.3	11.3	3.5
40代	11.1	25.5	27.7	22.6	45.1	43.8	17.9	9.4	1.3
50代	19.5	21.8	30.7	18.8	38.6	38.6	25.3	8.9	2.4
60代	13.3	19.3	39.6	15.7	41.5	34.3	28.0	6.8	7.0
70代以上	14.3	15.2	44.3	8.9	38.2	26.4	30.0	5.9	11.6



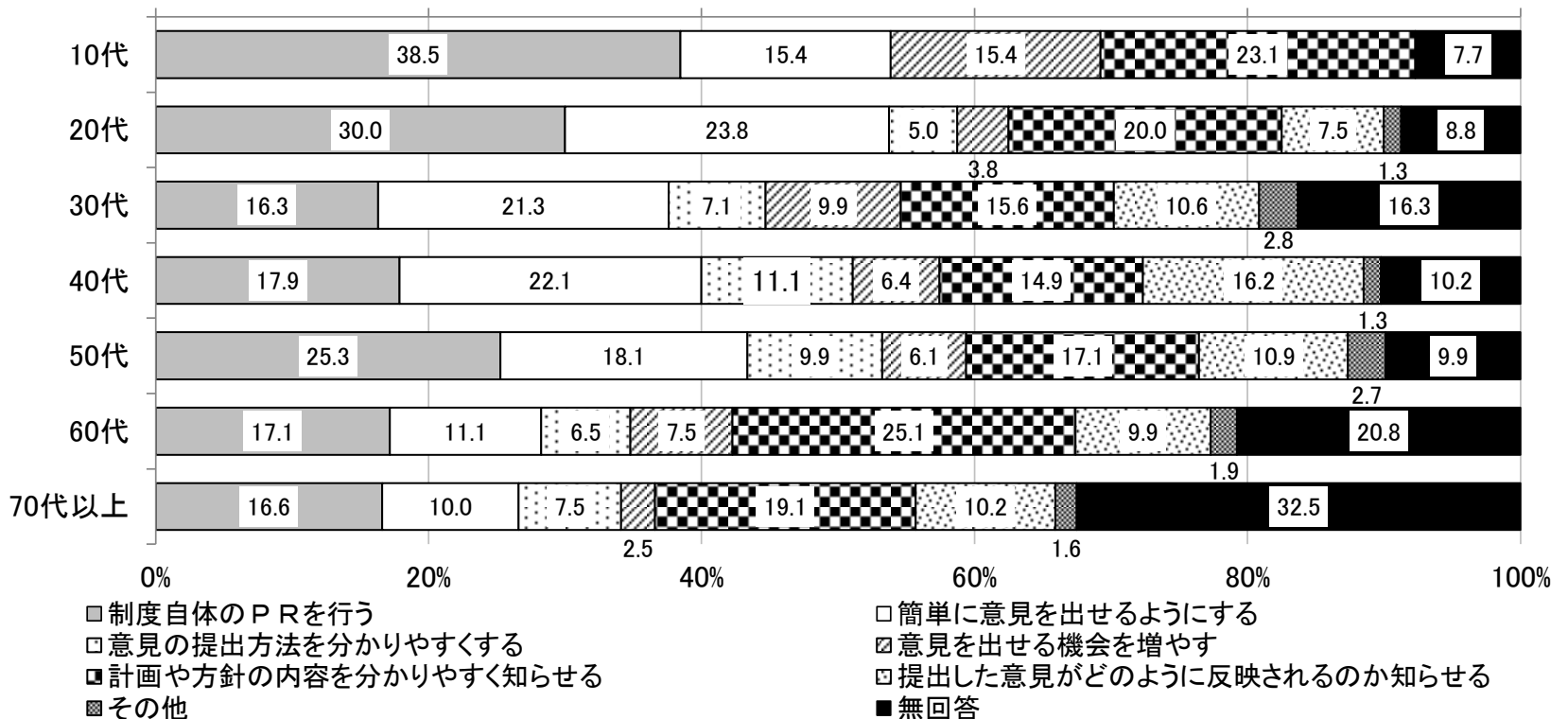
問12 以下の市民参加について多くの市民に参加してもらうために必要なこと (1) 附属機関等

	制度自体のPRを行う	開催する時間帯を工夫する	参加方法を分かりやすく知らせる	意見がどのように反映されるか知らせる	その他	無回答
10代	30.8	7.7	53.8	7.7	0.0	0.0
20代	38.8	7.5	30.0	18.8	2.5	2.5
30代	29.8	11.3	32.6	15.6	2.1	8.5
40代	23.4	8.1	33.6	23.4	4.7	6.8
50代	26.3	11.6	34.1	18.8	3.4	5.8
60代	23.9	8.7	33.6	19.6	4.1	10.1
70代以上	24.3	4.3	38.4	17.5	2.0	13.4



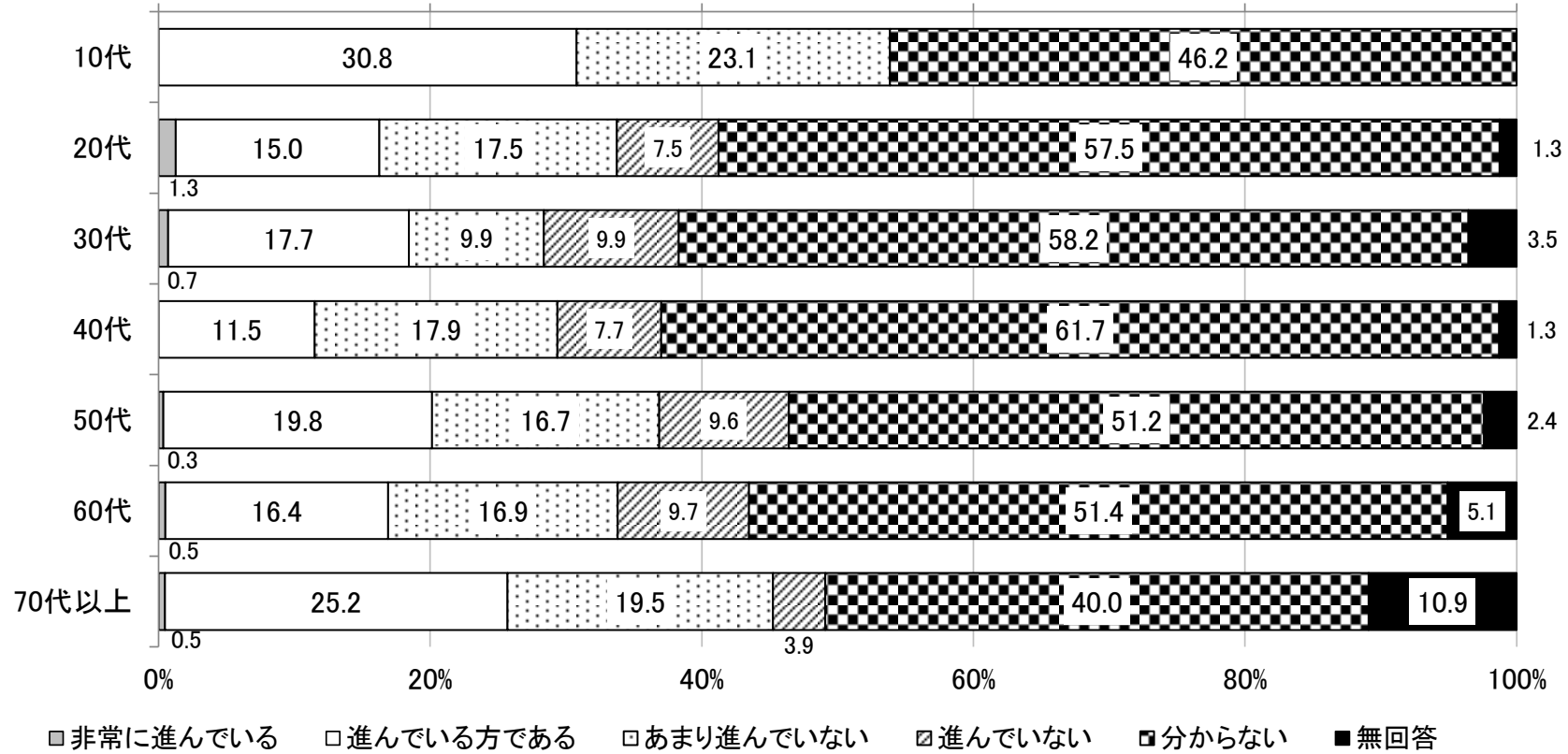
問12 以下の市民参加について多くの市民に参加してもらうために必要なこと (2) パブリックコメント

	制度自体のPRを行う	簡単に意見を出せるようにする	意見の提出方法を分かりやすくする	意見を出せる機会を増やす	計画や方針の内容を分かりやすく知らせる	提出した意見がどのように反映されるか知らせる	その他	無回答
10代	38.5	15.4	0.0	15.4	23.1	0.0	0.0	7.7
20代	30.0	23.8	5.0	3.8	20.0	7.5	1.3	8.8
30代	16.3	21.3	7.1	9.9	15.6	10.6	2.8	16.3
40代	17.9	22.1	11.1	6.4	14.9	16.2	1.3	10.2
50代	25.3	18.1	9.9	6.1	17.1	10.9	2.7	9.9
60代	17.1	11.1	6.5	7.5	25.1	9.9	1.9	20.8
70代以上	16.6	10.0	7.5	2.5	19.1	10.2	1.6	32.5



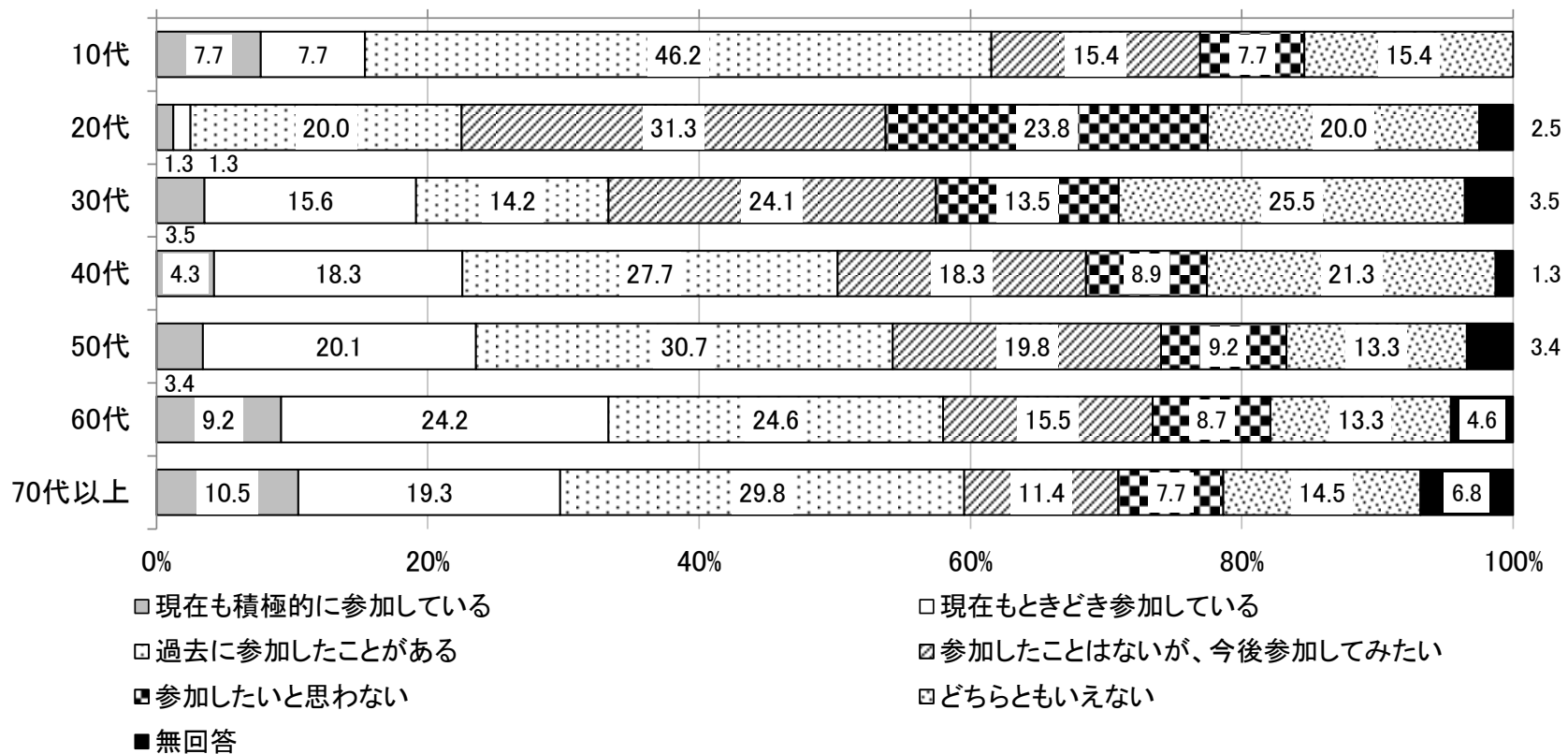
問14 江別市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思うか

	非常に進んでいる	進んでいる方である	あまり進んでいない	進んでいない	分からない	無回答
10代	0.0	30.8	23.1	0.0	46.2	0.0
20代	1.3	15.0	17.5	7.5	57.5	1.3
30代	0.7	17.7	9.9	9.9	58.2	3.5
40代	0.0	11.5	17.9	7.7	61.7	1.3
50代	0.3	19.8	16.7	9.6	51.2	2.4
60代	0.5	16.4	16.9	9.7	51.4	5.1
70代以上	0.5	25.2	19.5	3.9	40.0	10.9



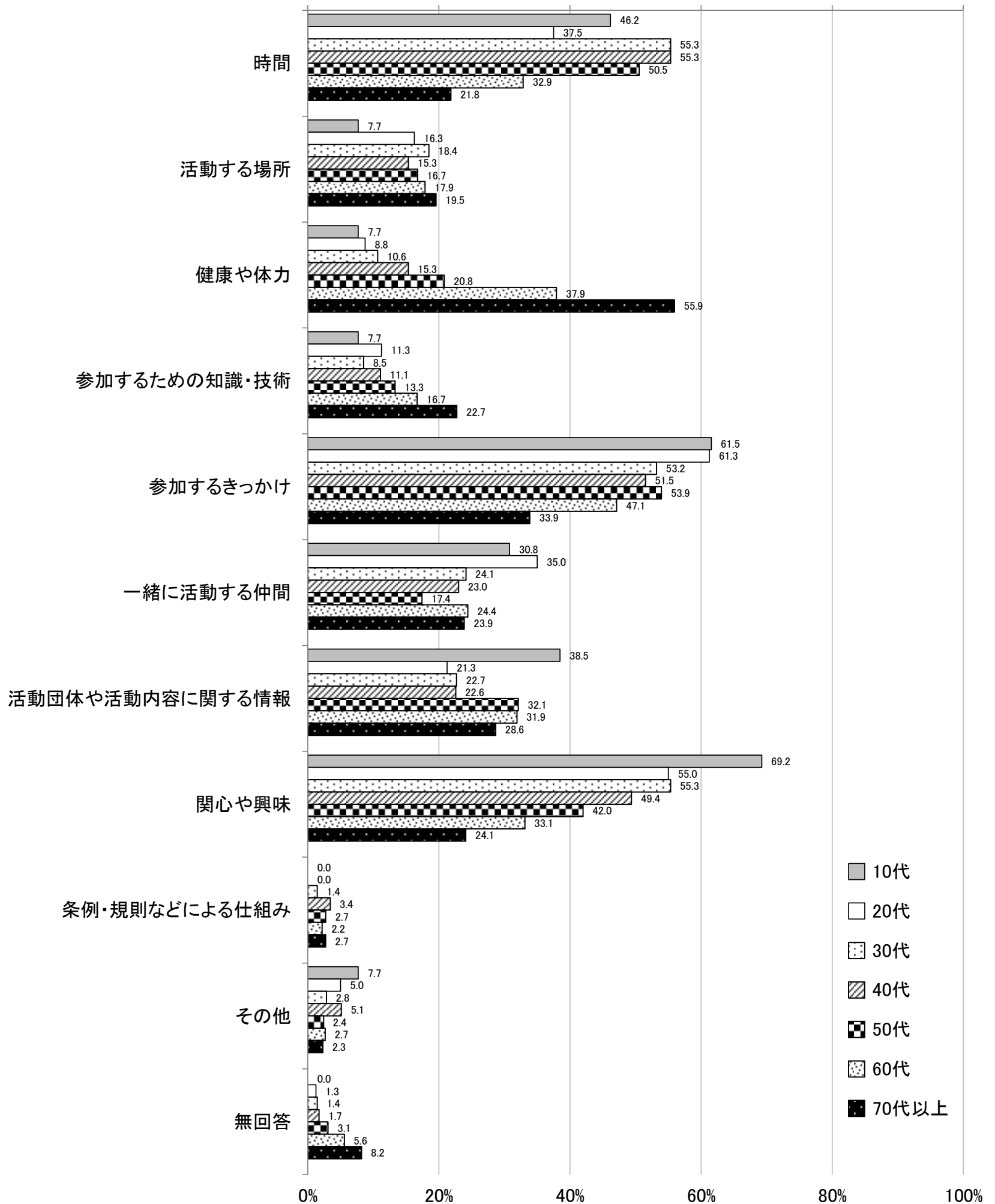
問15 まちづくり活動に参加したことがあるか

	現在も積極的に参加している	現在もときどき参加している	過去に参加したことがある	参加したことはないが、今後参加してみたい	参加したいと思わない	どちらともいえない	無回答
10代	7.7	7.7	46.2	15.4	7.7	15.4	0.0
20代	1.3	1.3	20.0	31.3	23.8	20.0	2.5
30代	3.5	15.6	14.2	24.1	13.5	25.5	3.5
40代	4.3	18.3	27.7	18.3	8.9	21.3	1.3
50代	3.4	20.1	30.7	19.8	9.2	13.3	3.4
60代	9.2	24.2	24.6	15.5	8.7	13.3	4.6
70代以上	10.5	19.3	29.8	11.4	7.7	14.5	6.8



問16 まちづくり活動に参加するにあたって必要なこと

	時間	活動する場所	健康や体力	参加するための知識・技術	参加するきっかけ	一緒に活動する仲間	活動団体や活動内容に関する情報	関心や興味	条例・規則などによる仕組み	その他	無回答
10代	46.2	7.7	7.7	7.7	61.5	30.8	38.5	69.2	0.0	7.7	0.0
20代	37.5	16.3	8.8	11.3	61.3	35.0	21.3	55.0	0.0	5.0	1.3
30代	55.3	18.4	10.6	8.5	53.2	24.1	22.7	55.3	1.4	2.8	1.4
40代	55.3	15.3	15.3	11.1	51.5	23.0	22.6	49.4	3.4	5.1	1.7
50代	50.5	16.7	20.8	13.3	53.9	17.4	32.1	42.0	2.7	2.4	3.1
60代	32.9	17.9	37.9	16.7	47.1	24.4	31.9	33.1	2.2	2.7	5.6
70代以上	21.8	19.5	55.9	22.7	33.9	23.9	28.6	24.1	2.7	2.3	8.2

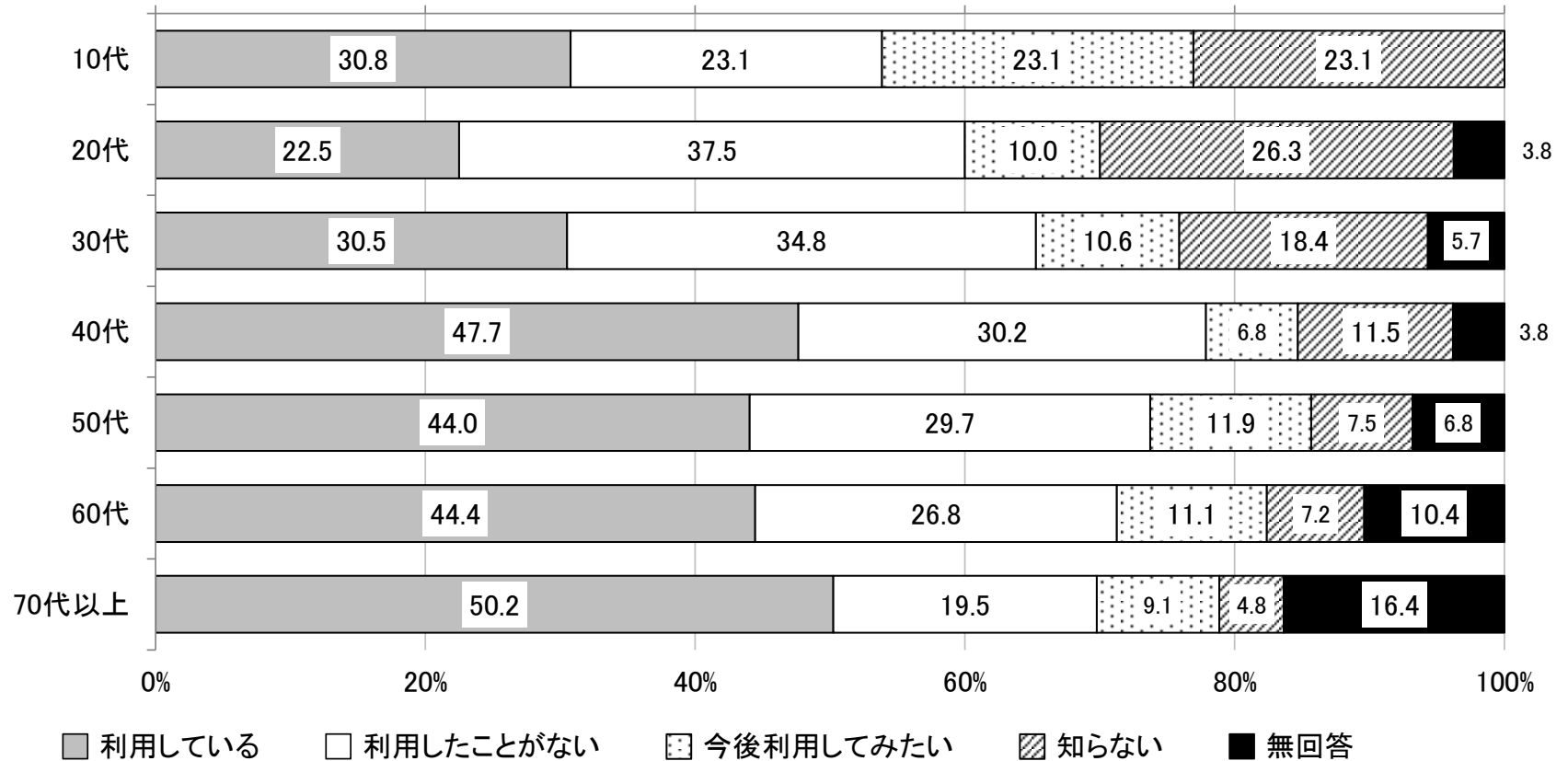


第1章第3節 属性別グラフ

※0.0%の表示を省略しています

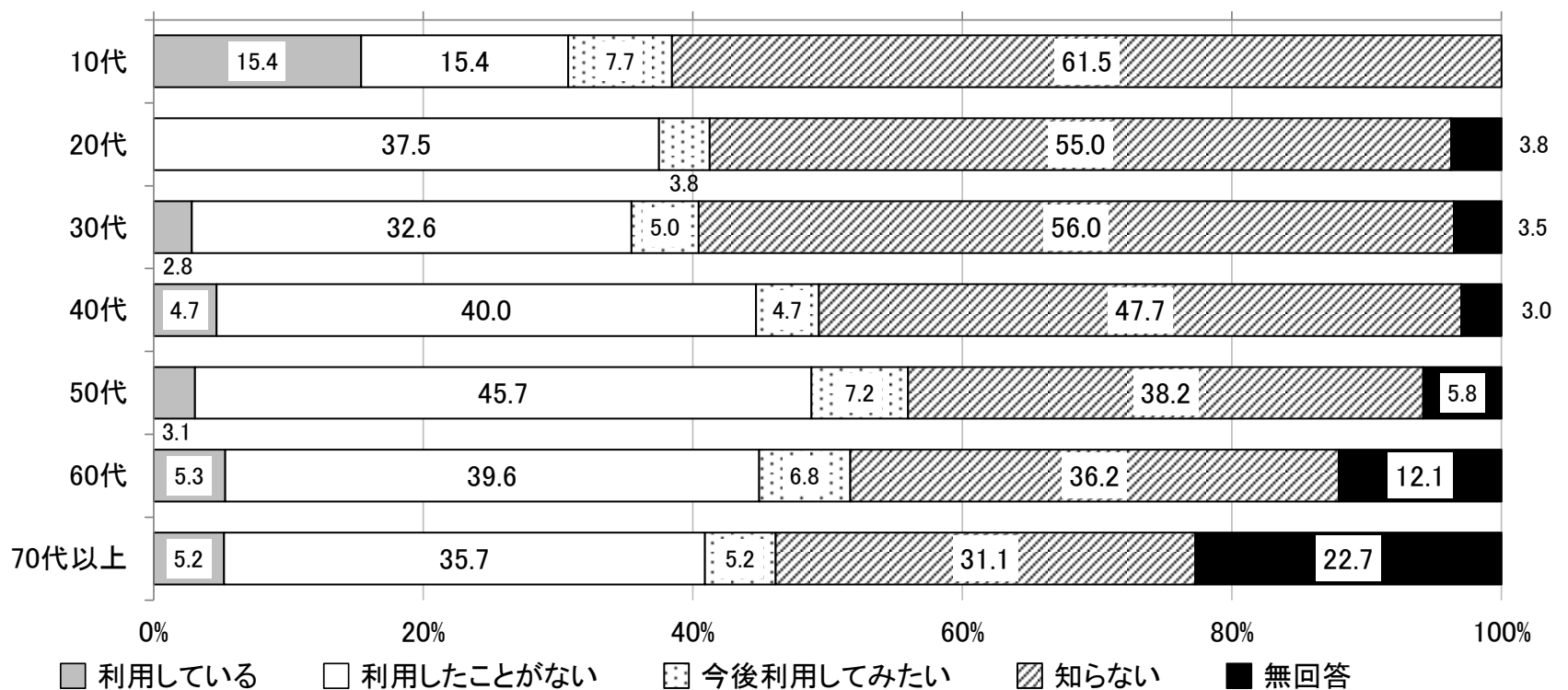
問17 問16の「2. 活動する場所」として次の施設を知っているか(1)公民館・住区会館(自治会館)

	利用している	利用したことがない	今後利用してみたい	知らない	無回答
10代	30.8	23.1	23.1	23.1	0.0
20代	22.5	37.5	10.0	26.3	3.8
30代	30.5	34.8	10.6	18.4	5.7
40代	47.7	30.2	6.8	11.5	3.8
50代	44.0	29.7	11.9	7.5	6.8
60代	44.4	26.8	11.1	7.2	10.4
70代以上	50.2	19.5	9.1	4.8	16.4



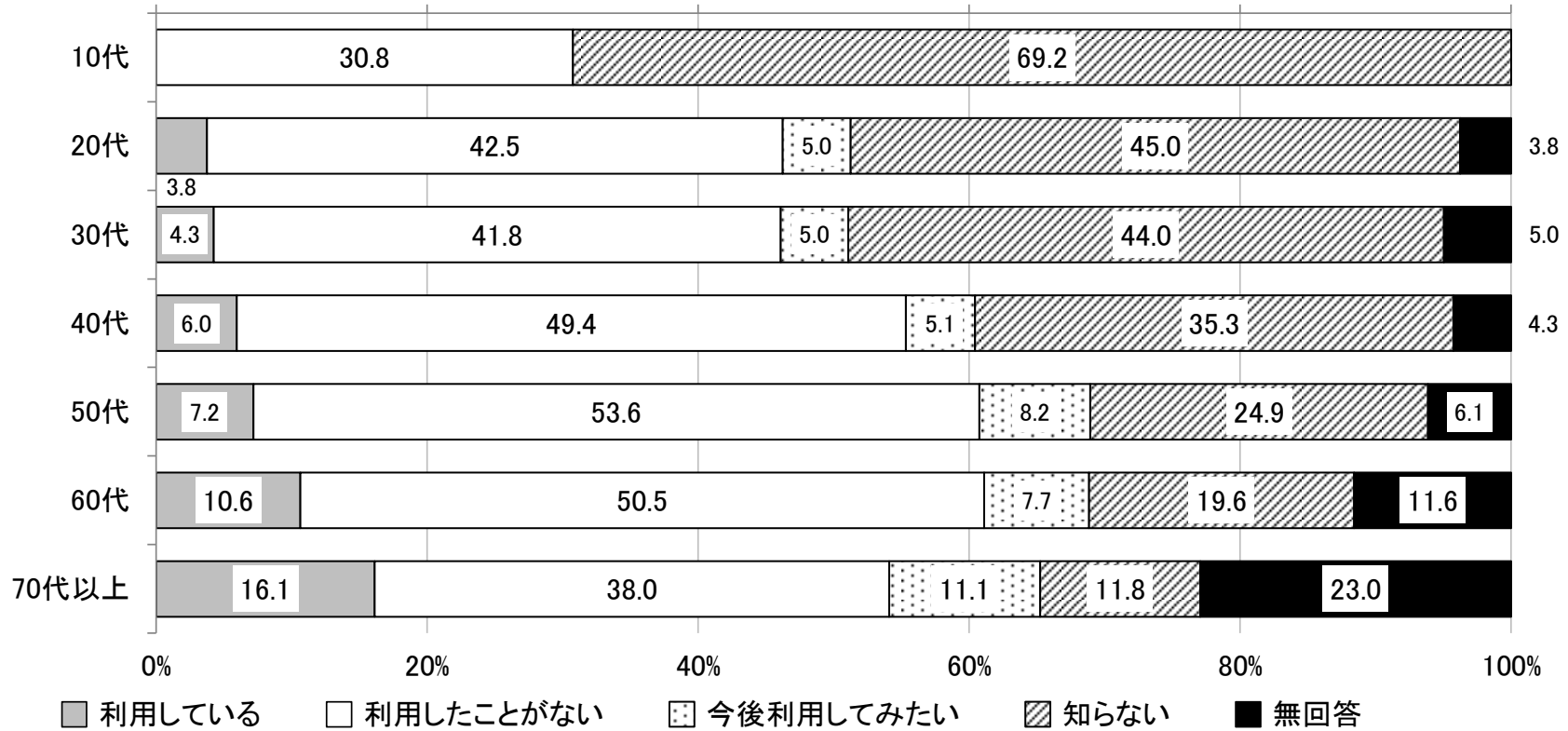
問17 問16の「2. 活動する場所」として次の施設を知っているか(2)江別市民活動センター・あい

	利用している	利用したことがない	今後利用してみたい	知らない	無回答
10代	15.4	15.4	7.7	61.5	0.0
20代	0.0	37.5	3.8	55.0	3.8
30代	2.8	32.6	5.0	56.0	3.5
40代	4.7	40.0	4.7	47.7	3.0
50代	3.1	45.7	7.2	38.2	5.8
60代	5.3	39.6	6.8	36.2	12.1
70代以上	5.2	35.7	5.2	31.1	22.7



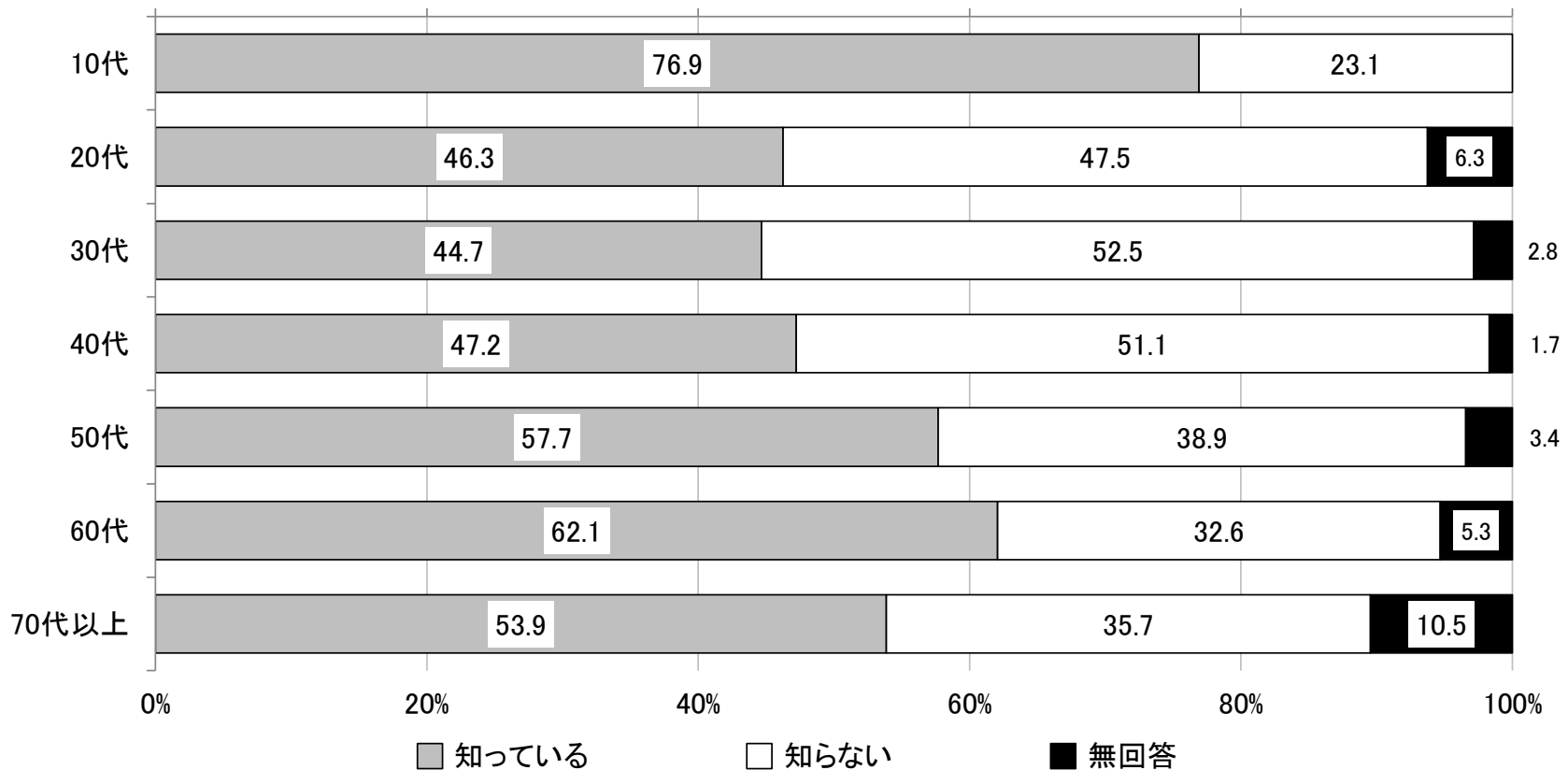
問17 問16の「2. 活動する場所」として次の施設を知っているか(3)江別市社会福祉協議会

	利用している	利用したことがない	今後利用してみたい	知らない	無回答
10代	0.0	30.8	0.0	69.2	0.0
20代	3.8	42.5	5.0	45.0	3.8
30代	4.3	41.8	5.0	44.0	5.0
40代	6.0	49.4	5.1	35.3	4.3
50代	7.2	53.6	8.2	24.9	6.1
60代	10.6	50.5	7.7	19.6	11.6
70代以上	16.1	38.0	11.1	11.8	23.0



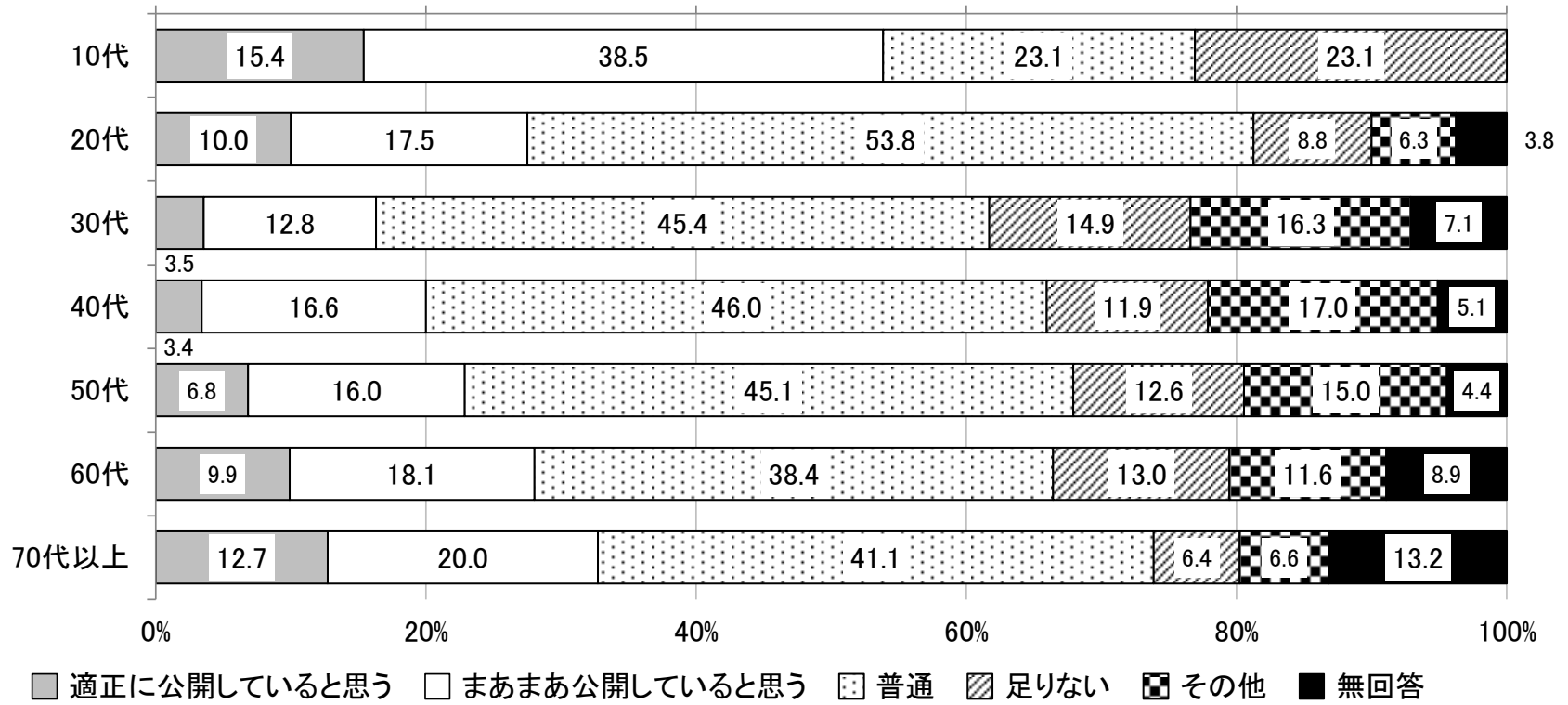
問19 情報公開制度があることを知っているか

	知っている	知らない	無回答
10代	76.9	23.1	0.0
20代	46.3	47.5	6.3
30代	44.7	52.5	2.8
40代	47.2	51.1	1.7
50代	57.7	38.9	3.4
60代	62.1	32.6	5.3
70代以上	53.9	35.7	10.5



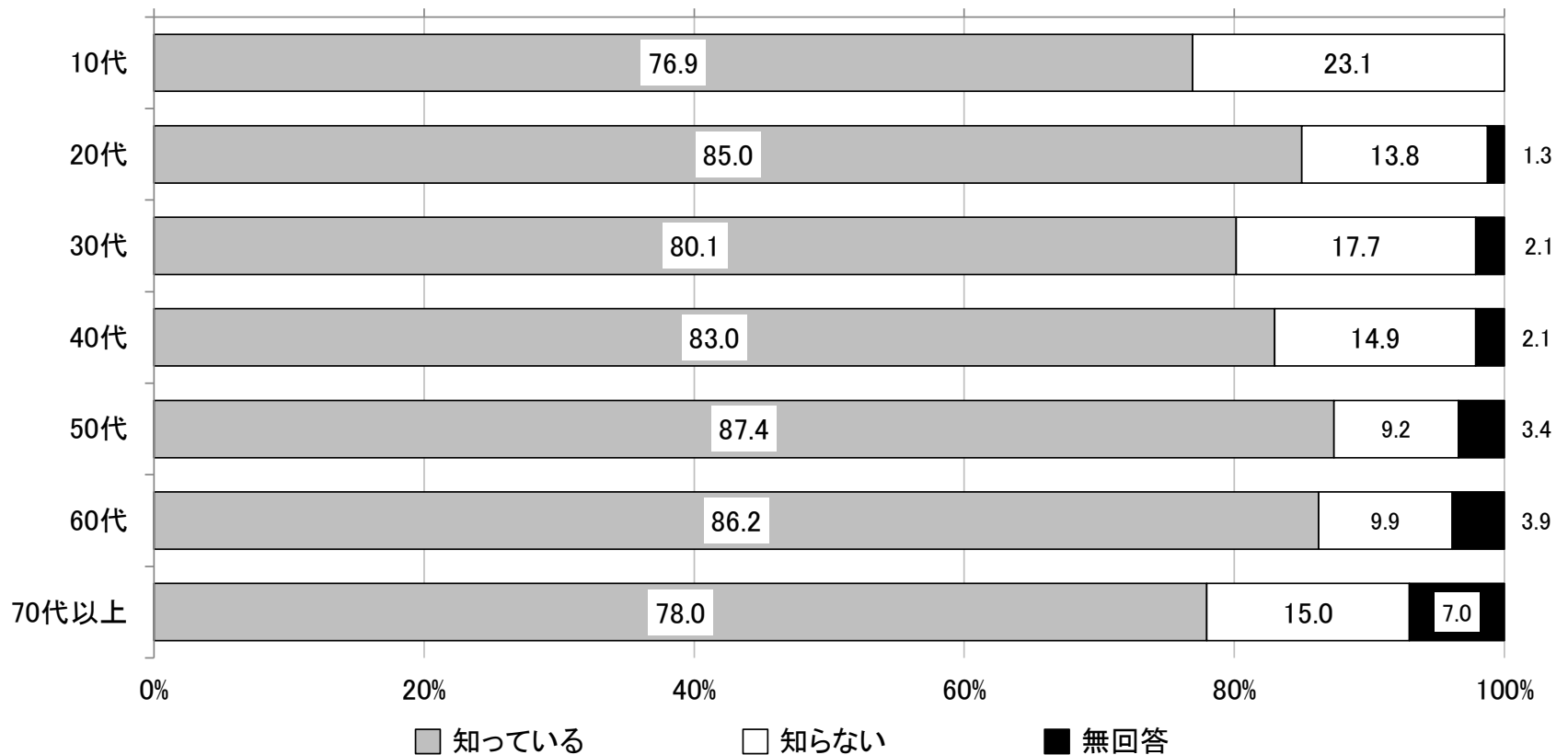
問20 江別市は適正に情報を公開していると思うか

	適正に公開していると思う	まあまあ公開していると思う	普通	足りない	その他	無回答
10代	15.4	38.5	23.1	23.1	0.0	0.0
20代	10.0	17.5	53.8	8.8	6.3	3.8
30代	3.5	12.8	45.4	14.9	16.3	7.1
40代	3.4	16.6	46.0	11.9	17.0	5.1
50代	6.8	16.0	45.1	12.6	15.0	4.4
60代	9.9	18.1	38.4	13.0	11.6	8.9
70代以上	12.7	20.0	41.1	6.4	6.6	13.2



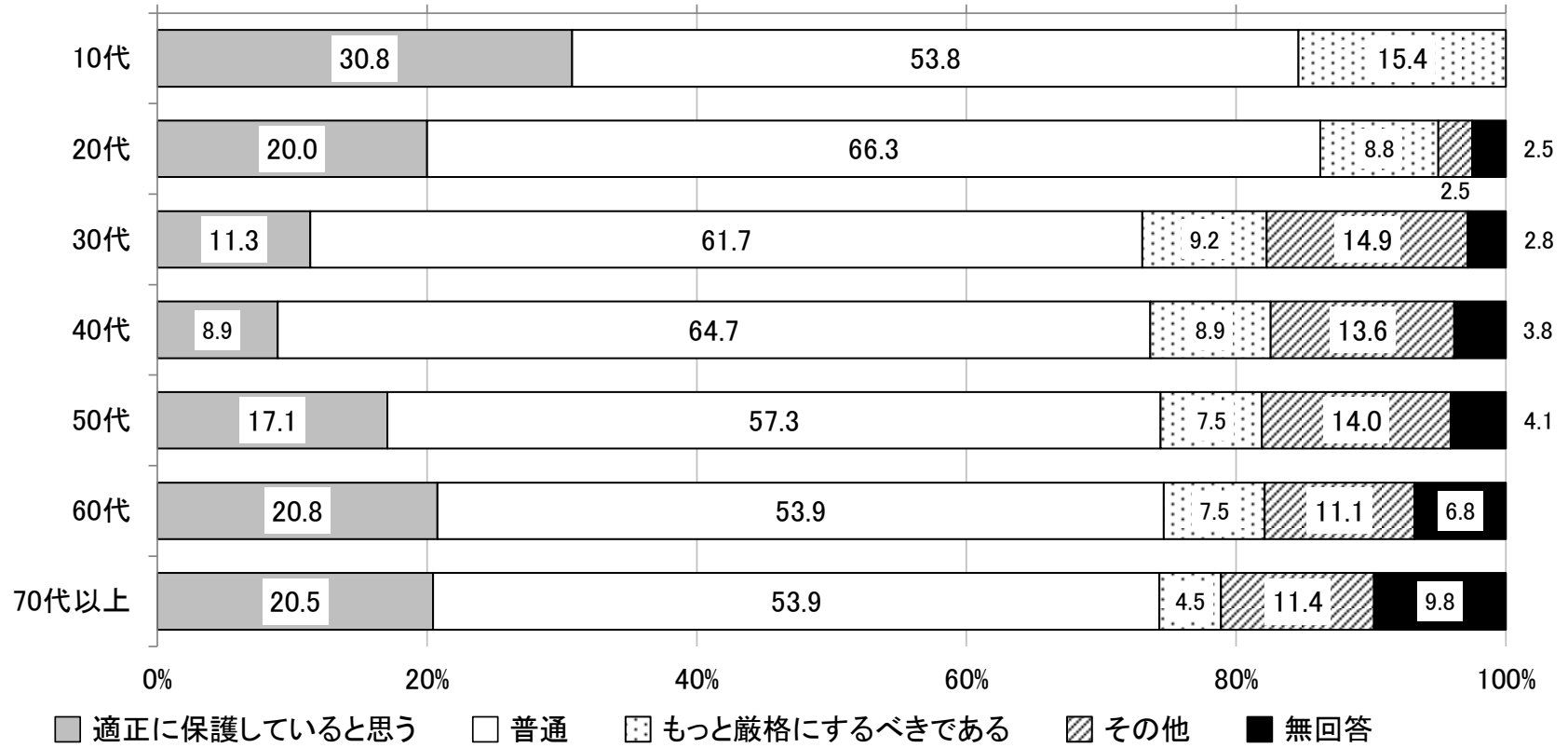
問21 個人情報保護制度があることを知っているか

	知っている	知らない	無回答
10代	76.9	23.1	0.0
20代	85.0	13.8	1.3
30代	80.1	17.7	2.1
40代	83.0	14.9	2.1
50代	87.4	9.2	3.4
60代	86.2	9.9	3.9
70代以上	78.0	15.0	7.0



問22 江別市は適正に個人情報保護していると思うか

	適正に保護していると思う	普通	もっと厳格にするべきである	その他	無回答
10代	30.8	53.8	15.4	0.0	0.0
20代	20.0	66.3	8.8	2.5	2.5
30代	11.3	61.7	9.2	14.9	2.8
40代	8.9	64.7	8.9	13.6	3.8
50代	17.1	57.3	7.5	14.0	4.1
60代	20.8	53.9	7.5	11.1	6.8
70代以上	20.5	53.9	4.5	11.4	9.8



問4「江別市自治基本条例」を何で知ったか

- ・自治会役員をしていたので
- ・市議に聞いた
- ・市役所窓口にて口頭説明
- ・広報えべつ
- ・このアンケートで

問5 江別市でお知らせしている情報の入手手段

- ・フェスブック
- ・まるまる新聞
- ・家族との会話
- ・町内会役員・民生委員を通して
- ・フリーペーパー
- ・野幌公民館広報コーナー
- ・親

問6 まちづくりに関する情報を得やすくするために必要なこと

- ・SNSやメールを活用した情報発信と伝達
- ・広報車の活用
- ・コンビニ、スーパーに大きな掲示、新札幌駅に分室
- ・イベント時にまちづくり情報を発表
- ・回覧板などで周知させる
- ・市職員が日常的に町内会活動に参加して情報発信、情報提供していく
- ・電話での相談対応を充実させる
- ・既存の自治会活用、自治会長、区長が、わが“まちづくり”についての情報に精通していただく
- ・子育て世代は保育園、幼稚園、支援センターに貼り出す
- ・活動全般を記すのではなく、主テーマごとに、主義・内容を告知
- ・メールマガジン作成、登録の呼びかけ
- ・SNSの活用
- ・イオン江別に来てもらう
- ・出前講座を増やす
- ・イベントを開催する
- ・情報の全戸配布
- ・QRコードを活用して、ホームページの閲覧数を増やすなどの対策をはかる
- ・デジタル放送など、TV活用

問8「江別市市民参加条例」を何で知ったか

- ・このアンケートの条文と解説
- ・勉強会

問11 市民参加を推進するために有効なこと

- ・日常的な市職員の活動
- ・江別市として、もっと新しい企画を期待したい
- ・税金のムダ使いやめてください
- ・市民参加廃止
- ・休まずに参加出来る体制
- ・WEB意見箱
- ・インターネットの活用
- ・町内会を活用する団体に働きかける
- ・日曜日等で意見を聞いてほしい
- ・直接意見を言ったり投書する場の一本化。政策や課・係を超えて窓口を一本化し市民に周知する
- ・学校など、各所関係機関との連携
- ・遠隔地に配慮がほしい
- ・自治会をとおして情報を発信していく
- ・市政策案(企画事案、課題など)の事前周知(提供)、意見収集など必要
- ・企画と市民参加可能日の年間スケジュール表の広報
- ・チラシなどによる広報媒体
- ・HP等に気軽に記入できるページを設ける
- ・農園・花園(ぶどう狩り・イチゴ狩)等で、軽く(しつこくなく)説明することなど初歩的な宣伝活動から始める

第2章第1節 その他記入ご意見一覧

問12 以下の市民参加について多くの市民に参加してもらうために必要なこと(1) 附属機関等

- ・市職員が情熱を持って参加を呼び掛ける
- ・土曜日・日曜日の活用
- ・町内会など通じて広報する
- ・気軽に発言できること。かたいイメージがあるので、難しそうに感じますがこんな風を実施していますというイメージ動画とか気軽に見られるとよいかもしれません。目に見えた方がいいと思います
- ・市民からの意見を吸って上げる電話窓口、アンケート箱
- ・附属機関は普通の市民にとっては参加するのは気が引ける
- ・各自自治会ごとに、参加者を募集する。毎年実施
- ・自治会との連絡を密にする
- ・それぞれの分野(改善点)で集まり、そのチームで意見を出し、まとめ、ていく仕組みをつくる
- ・開催場所を多くする
- ・楽しい企画を集めて、次々とやってみる

問12 以下の市民参加について多くの市民に参加してもらうために必要なこと(2) パブリックコメント

- ・わからない
- ・市職員が日常的に参加を呼び掛け
- ・ネット上でパブコメを出せるようにする
- ・必要性がない
- ・テレビ・ラジオ・インターネット等の利用
- ・1～6の項目、すべて必要かと思います
- ・パブリックコメントは日本語で表示してください
- ・利害関係者以外にも、積極的に利用するよう呼びかける
- ・施策が必要となる課題の説明。施策による予測効果などの説明も必要
- ・市民の意識改革
- ・各自自治会に期限を分けて提出させる
- ・市民に公表する周知の方法を考えるのが先

問16 まちづくり活動に参加するにあたって必要なこと

- ・助成金
- ・政策の明確な方針
- ・魅力
- ・誰でもいつからでも参加しやすい透明性
- ・自治会を利用してほしいです
- ・しっかりとしたテーマ、フィードバック
- ・経費の補填・補助の適応
- ・余裕をもった事前告知、広報
- ・市に対する共通の目的
- ・無料で利用できる福祉バス
- ・企業との関わり、個々では弱いのもっと江別の企業と結束して企業から個々へ
- ・経費・活動費
- ・広報活動

問20 江別市は適正に情報を公開していると思うか

- ・わからない
- ・申し訳ありませんが、何をもち「適正に公開している」かが判断できません
- ・都合の悪いことは公開しないのでないか
- ・情報公開の状況実績を存じていない
- ・どこの市町村でもある程度、要求があれば公開していると思われる
- ・私の勉強不足か、情報公開された案件について目にしたことがない
- ・しているのかしていないのかさっぱりわからない
- ・そもそもどこでしているのかわからない

問22 江別市は適正に個人情報保護していると思うか

- ・わからない
- ・様々な分野で情報の扱いについて問題が発生している。常にチェックを怠らないこと
- ・必要な理由に基づく、柔軟な対応が必要
- ・もう少し緩くてもよい
- ・実態がわからない
- ・建物の電話番号くらい教えてもよいのでは
- ・情報を保護されている、と何をもち感じられるのかわからない
- ・個人名、住所、地番等、公園などに開示してあり、個人情報を保護しているとは思えない
- ・保護しているのですが、いつ破られるのかわからない
- ・一度の情報流出は取り返せない。適正と信じる怖さはある
- ・状況(そのときの)に応じた具体的な面での適用(摘用)があやふやな点がある
- ・個人情報を必要とする所轄は厳格に管理していると思う

第2章第2節 問9 市民参加の機会が十分にあると思うか

●十分あると思う

- ・十分にあるのかもしれないが、主体的参加の意欲に欠ける者をどう覚醒させるかが問題。
- ・個人に、参加の意識が低いだけであり、その意識があれば、機会は充分にあると思う。
- ・色々な催しを行っているから。
- ・都市計画審議会公募委員及び景観審議会公募委員等の市民参加型の行政を頻繁に取り入れているように思います。
- ・多くあれば経費がかさむ。
- ・公民館へ行くと催事等のポスターが掲示されていますが、内容が分からないため参加できない方もいるのでは。
- ・地域の交流等が多くみられます。自分は参加していませんが。
- ・自治会がある団地に入居しているので、集会などに参加すれば必然的に市民参加もできるため。
- ・一度ボランティアで参加した「江別子ども祭り」の例もあるので、このような機会を増やした方がよいと思ったから。

●やや思う

- ・新聞などでいろんな催しや取り組みが載っているのを見るので。
- ・関心を持ってあたりを見回せばけっこう情報源がありますね。
- ・いろんな集まりが多く見受けられる。
- ・他の市に比べれば機会があると思うが、なかなか参加できるものがない。
- ・マスコミ、情報誌に記載されていることがある。
- ・イベントが多くてよい。やきもの市もよい。
- ・江別市民祭りなど、広い年代に楽しめる行事ごとがあるから。
- ・私自身は積極的な参加はしていないが、自治会活動や、市議会の傍聴なども可能だし、意見を提出する機会もある。
- ・まるごとフェスタなど市民にあったものがある。
- ・市民参加を募る文章をときどき見る。

●普通

- ・自分自身が関心をもっていないのが1番の要因であると思うため。
- ・今までは自ら積極的に参加しようという意志がなかったもので、よく分からないというのが現状です。
- ・比較するものがない。
- ・受け取る市民の側にも、意識改革が必要でしょう。
- ・地域的に会場が野幌大麻地区で行われる事が多い、交通の便が悪い所に住んでいる高齢者は参加できない。
- ・参加する意思のある人は参加に積極的だと思うし、興味のない人は全く参加しないと思う。
- ・年代もあり、あまり興味がわかない。
- ・自治会など組織・団体役員の参加が優先的となり、一般参加を募っているものでも、躊躇してしまう。
- ・どこの市町村でも、同程度の事を実施していると思う。
- ・日時の都合の悪い時もある。また、内容が条件に合わない時もある。また、参加できない人もいるため。
- ・参加する場面が実感できていない。
- ・参加する意欲は人によってちがうので何とも言えない。
- ・こんなものだと思うが、学生や社会人はどのような機会があるのかも知り得ないし参加する時間もなく、ボランティア好きや高齢者の道楽にとどまっていると感じる。
- ・自分が行こうと思うことがない。面倒な思いもあり。
- ・周知方法の多用性が必要だと思う。
- ・機会はあがるが、ハードルが高そう。
- ・他市町村と比較した場合多いとも少ないとも思わないから。
- ・普段生活をしていて市民参加の機会がどのような形であるのかということも、知りうる事が難しいと思うから。
- ・他市と比べたことがないが、広報以外の情報はあまり気づかない。

第2章第2節 問9 市民参加の機会が十分にあると思うか

●あまり機会があると思わない

- ・市民参加の機会を知ることが少ないため、参加しようがない。
- ・市民参加方法、要領がまったく示されていない。
- ・やっている事自体わからなかった。
- ・どのような参加の機会が江別にあるのか不明であり、分からない。
- ・参加の機会について、周知不十分だと思う。
- ・まだ仕事があるので。
- ・あまり関心がなかったせいに限られた人の参加であると思いこんでいました。
- ・学生にまで情報がまわってこないため。
- ・市民参加の情報が目に入る機会があまりなくて、周知不足だと思う。具体的にどのように意見が反映されるようになるのか分からない。
- ・まちづくりに参加する案内(機会)に出会わない。
- ・市民説明会の機会が少ない。市の重要な事業について、積極的に機会をつくるべきです。
- ・市民参加の機会が各家庭や個人に広く伝わっていないと思う。
- ・だいたい、市民参加の場がどのように開かれているかを知らないのです。
- ・市民側の意識、関心が薄いことも一因と思います。
- ・たとえ意見があっても、これは無理だろうと考えると、意見をひっこめてしまうことも多かった。
- ・イベントなどの説明がない。
- ・参加したい、しやすい講座があまりない。
- ・実際に市民がまちづくりに参画できる場がどのようになっているか定期的に情報提供すべきではないか。
- ・市外で働いていると情報は全く入ってこない。
- ・何にどのように参加すればよいのか情報があまりない。
- ・機会や場の存在がどこにあるのか分からない。
- ・興味がないです。
- ・一部の市民だけであると思います。
- ・私自身、何をどうする、どうできるか分からないから。
- ・情報を知る機会が少ない。市のホームページだけでは不十分だと思う。
- ・市民参加のPRは自治会役員段階にとどまっており、市民まで届いていない。

●まったく思わない

- ・江別市職員は札幌市民だから関係ない。
- ・市民参加の意味がわかりません。
- ・町内での参加すらない状況だから。
- ・私の注意力が不足していたかもしれないが、これまで、一市民として市の方針を聞き意見を反映できるような集会等に関する案内を知らなかった。広報に載っていたのかも知れないが、多くのお知らせのone of themではよほど関心の高い人を除けば目に入らない。今回のアンケートは初めての機会です。
- ・市として何を(どこを)目指しているのかまったく不明である 情報の公開が足りない。
- ・広報えべつ、市議会だより等で見逃したと思う。
- ・第15条の「分かりやすく公表」がされてない。
- ・私が参加したことがないから、機会を知らない。何をしたら市民参加なのか。
- ・まったく周知されていないから。
- ・具体的な事例が思い浮かばないから。
- ・自分も含めて知らない人がいるのに参加する、以前の問題があると思う。

第2章第3節 問13 条例第24条「市民参加の推進」の条文について、ご意見

- ・パブリックコメントをメールやSNS等で送信できる場があれば、より容易に市民参加ができるようになると思います。
- ・市民参加の結果や、意見がどのように反映されたのか、何によって知らせめるのか具体的に示してほしい。
- ・道理に叶ったものだと思う。
- ・人の前で意見を話すのは恥ずかしいです。
- ・機会があると思う人がいるのなら推進すべき。私は今は必要としないが、活動が進化することで積極的に参加する可能性がある。
- ・「条文」そのものは問題ないが、結果として、評価されるべき条例が生じた場合は、宣伝公表してもよいのではないのでしょうか。
- ・市民側への参加呼び掛けや条文の周知が不明。
- ・ばく然としていて、これを持って市民参加の推進が図られていると判断できない。
- ・このままでよい。
- ・少数意見が反映されるのでは。意見のかたよりがみられるので、なるべく多くの人が意見を出せる方法で、市民参加ができるように工夫すべきだと思う。
- ・今のところ市長、市職員、市議会の自己満足のためにあるのかなと感じる。(定義)第2条(1)市用で働き～市内で事業一江別の大多数は札幌または岩見沢で働いている。
- ・高齢化及び一人暮らしの家庭が多い中健康問題も大きく作用し、色々参加できずにいる人もと思いますので、自治会を利用するのもよいと思います。
- ・市のホームページを利用して意見等を書き込む仕組みにする。
- ・第3項「不当に不利益を…」同項前段による「不利益」は、あるとしたらすべて不当なものです。
- ・パブリックコメントをもっと真剣に取り組んでほしい。
- ・よいと思いました。意見をはっきり言える強い人だけでなく、弱い人の意見も上手に反映されるといいなと思います。
- ・市が(市長はじめ関係機関)が正常に運営していればそれでよいと思う。
- ・2の「市民の意見が適切に反映されるように努めなければならない」をまず実施してください。よく、アンケートが届き、毎回必ず意見を書いて送り返しています。無視したことはありません。でもそんな回答の一つすら間にも生かされていると実感できたことはありません。何のために税金を使ってまでこんなことを・・・とってしまいます。市役所の職員の給料や庁舎の新築のために払ってる税金ではありません。市民の生活がよくなるために、市民参加の推進をするという意識のない人は辞職すべきです。
- ・24条の、3で障がいの有無等が書かれているが、障がい者もみんなで行動できる働きが市民にあるかどうか。また、市民の考え方。
- ・個人として参加することは、なかなかむずかしい。職場や地域などから入るほうが参加しやすいのでは。
- ・自治会(町内会)活動を増やしては。
- ・制度は、具体的、実現可能的、又は、建設的、安全性、利便性、文化的、明瞭的、市民の意見の考慮がなければならないと思う。また、国に対しての具体的、政策を表明し、江別はこうした取り組みをしているということを、顕示しなければいけないと思う。
- ・そもそも一市民のわがままな意見等聞いても無駄なことであり、選ばれた良識のある人達の決めたことを推進すればよいのでは。
- ・具体性に欠けると思います。制度の充実に努めるとあるがどんな制度なのか。市民の意見がどのように反映されるのか等。
- ・市民参加から市民参画につながる仕組みづくり。
- ・市民が参加しやすく、市民の意見の内容と、その結果の振り返りを公開すべきである。
- ・制度の充実に努めるには、より多くの市民の意見を聞く必要があると思う。いかに周知するか聞く機会を持つかも重要かと思う。

第2章第3節 問13 条例第24条「市民参加の推進」の条文について、ご意見

- ・真に市(行政)と市民が連携、協働することがこれからのまちづくりとして重要と考え、「市民参加条例」も制定したのであれば、自治基本条例第24条の市民参加の推進に関する規定第1項及び2項は努力義務ではなく、義務規定とすべきではないか。
- ・もっと参加しやすく、意見を出しやすくすべきだ。
- ・市民の意見を反映するのはいいが、第7条の2「市民は～自らの発言及び行動に責任を持つものとする」というところに意見を出しにくくするのではないか、と思う。市職員は個人の責任を問われないのに、市民に責任を問うとする一文に異和感を感じる。
- ・あたり前の事だと思います。
- ・条文中「制度の充実に努める」と書かれているが具体的に制度とはどのようなものか理解できない。
- ・市民参加条例の更なるPRを望む。
- ・条例の内容はとてもわかりやすい文章になっていますので、内容はわかりました。私自身としましては、これといった市民参加はしていないので、いつのまにか決定されていたりして驚く事も多いです(知らないうちに介護施設が増えていたり)。
- ・近年において、あたり前のようにしていることを条文で示すのは違和感がある。
- ・内容については特に問題ないが、それを実現するための手段があまりに乏しい。そもそもわが家には、広報えべつが配布されていないため、市政については、他の手段を用いなければならない。しかし、ホームページからそのことを知るためには、多少の時間が必要で、情報を得るための方法が十分であるとは到底思えない。また、全国のアンケートで自治基本条例が添付されていたが、市民参加について団体的活動についての資料が一切ないことは、あまりアンケートとして効果的ではないのではないか。
- ・努力規定ですが、市役所の自己満足になるのでは。
- ・条例としての必要性を全く感じない。

第2章第4節 問14 江別市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思うか

●非常に進んでいる

・札幌と岩見沢に住んだことありますが、市が一生懸命になっていること、地域の人達の温かい雰囲気は感じました。また、子育てに力を入れているなと思いました。

●進んでいる方である

- ・他の県から転居してきたが、「広報えべつ」はローカル色豊かでアットホームである。毎回読むのが楽しみ。
- ・JR野幌駅のデザインを投票で決めた。
- ・このアンケート調査自体からそう考えます。
- ・いろいろな考えを持っている人が多いと思うので、ある程度成果が上っているようである。
- ・自治会の活動についてはわかりやすく周知されていると思うから。
- ・各自治会活動は活発である。
- ・市民は積極的であるが、市は同じモチベーションではない。
- ・ごみひろいや歩道の花壇の整備等各自治会できちんと行っているの。
- ・高齢者の方々が、各種イベント会場で啓発活動等をしている姿を、よく見かける。
- ・3地区がそれぞれ特徴があると思う 野幌は一応完了したと考えるので、他の地区を取り組んでは。
- ・地域によると思いますが、ほとんどのまちが春になれば街路の花壇がきれいに咲き、みんなで力を合わせているのが分かります。小さな事でも協力し合っているのが分かります。
- ・街路樹がきれい。
- ・役所に足をはこび、話し合うことで、まあまあ解決することができ、とてもよいと思う。
- ・野幌の駅前が広くきれいになった。
- ・新聞の江別覧でたまに何かやってるなど見たことがあるような気がする。町内会の回覧でも。
- ・あちこちで、シルバーさんの活躍を目にします。イオン江別の「ときめいく」も続いているようです。

●あまり進んでいない

- ・協働が進んでいると感じる場面がない。
- ・あまり進んでいないと思います。協働による結果、成果等が見える形で伝わってきていない気がします。
- ・あまり身近に感じない。
- ・バス路線の見直しでも不便な地域から便数が減らされている。市民にバス利用を呼びかけているが、便数が少なければ利用もしにくいと思います。敬老パスのような利用をうながす政策が考えられてもいい(例えばバスの小型化や地域の要望をもっと聞く等)。
- ・市の担当者は汗をかいて、努力しているのはわかる。市民がもっと「協働」について、他人まかせにしないで、真剣に向きあうことが大事。文句ばかりでは、本末転倒。我々が住んでいる街をよくするのだから。
- ・一部賃貸アパートが自治会に組み込まれていない。自治会は協働の枝とも思えるのに、大家の志向で入れない家庭が多数あり、おかしい。
- ・メインストリートの植樹帯に花を植えて街並みの美化を図っているように見えるが、一歩路地に入ると、排水溝に蓋がなく、路側帯は雑草が生えているのが現状だ。
- ・自治会役員、行政の方は協働について話し合い、活動しているかもしれないが、一般市民には協働によるまちづくりが進んでいるとは思わない。
- ・協働というよりも、市がほとんどが中心となっている気がする。
- ・協働を実感できていない。
- ・道路の清掃と路側への花の移植等の美化運動がありましたが、実行は自治会加入者に限られています。進んでいるとも言えるのですが、悪く言えば協働の実績作りのようにも取れます。

第2章第4節 問14 江別市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思うか

- ・江別市のまちづくりに対する未来像がよく見えてこないように思います。今現在進行している野幌駅周辺の事業も、市民の意見が反映されているのか(国との意見等もあるのでしょうか)、よく分かりません。
- ・やっている人とやっていない人とはっきり分かれているように思います。
- ・周知不足があるのではと思うので。考えてみれば「協働」は当たり前なのですが。
- ・何ができていて、何をしている途中なのか具体的に分からないから。
- ・ばく然としすぎていて、結局何かしたいのかわからない。
- ・まちづくりの機会があまり知られていないため。
- ・形の上では「協働」でまちづくりが行われているように見えるが、実際はそれぞれの機関が単独で動いているように見受けられる。
- ・今江別は、江別、野幌、大麻、どこをとっても計画性のない街づくりが進んでいると思うから。
- ・個人的に協働に参加している意識がない。市政には満足しているので参加したいと思わない。
- ・本条ばかりではないが「必要な事項は別に定める」という文言が多いため、実施の際の具体的な手順が不明なので活動が活発化しないと思う。
- ・市内大学の学生によるまちづくり等の活動やマップ作り等を行っているのは知っているが、その活動により地域や市民が、恩恵をどの程度感じているのか。他市町村の取り組みを見ると、単なる実績作りの範疇に思える。
- ・活動内容がよくわからない。
- ・市は「協働」という名のもとに公助を避けて、自助の方向に誘導しているように見えます。行政が先頭に立って何事も推進してほしいものです(自治会等に各種作業・調査の依頼が多すぎます)。
- ・市の行事に何も参加していないので、身近には感じていません。
- ・自治会参加メンバーも高齢者が多く、エリアで協働対策に格差が生じているように思います。

●進んでいない

- ・江別市民ではない市職員が多くいる中で協働の意識が生まれるのだろうか。市民ではない市職員に市民目線を感じない。
- ・各自治会の活動に頼りすぎ。
- ・札幌に近く通勤にはいいが、江別市内には目玉となる商業施設がなく、若い人等は札幌での買い物を好むし、江別自体が、江別、野幌、大麻と各々個別で一体化した物が感じられない。
- ・一市民の協働といえば、市からまわってくる回覧をまわすことぐらいしかない。
- ・市民も市に任せっぱなしではあるが、市も市民のために働くいわゆる「市民ファースト」の気持ちは感じられない。
- ・「協働」そのものが理解、周知されていないと感じる。
- ・全く進んでいません。一部の公務員しか保障されていない現実があるからです。
- ・野幌駅前をどうしたいのか、どうなるのか全く解らない。ほしい施設のアンケートはあったが、実際どうなるのか、教えて下さい。
- ・市の姿勢に能動感が乏しく、積極的に働きかける熱意に欠けるといって、根本的な疑問を覚える。市長並びに部局の反省を促したい。
- ・多数の一般市民に浸透していない。
- ・協働に参加の話をは聞いたことがない。
- ・役割や責任について条例に明記しても市民に対しては何の意味もないと思うので。
- ・協働の測定がどのようになされているのか分からないので回答は難しいが、特定企業が利益を生むような施策は本当にないのか、理念に及ることになっていないのかもはっきり事務局は監視してほしい。
- ・進んでいるというのはどのような状態なのかいまち想像できない。そのため進んでいない。
- ・まちづくりに魅力がない。多くの大学で学ぶ学生が江別で働きたくても働く場(企業等)なく、流出は残念です。
- ・市の協働に対する働きが見えない。

第2章第4節 問14 江別市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思うか

- ・協働とは、余りなされていないように思う。いつも市側へ要望ばかり。
- ・市として協働している事が分からない。
- ・市民が近隣への通勤者が多いこと、市内大学生も近隣からの通学者が多いことから、市の行財政に感心を持っている市民が少ないと思う。
- ・目に見える結果が体感できないから。
- ・江別市が、住みよい場所だと感じないから。
- ・個々、小さなまとまりでは進んでいるのかもしれないが、全体的なまとまりがないような気がします。札幌に勤めているので、江別にはあまり表だっでの関わりが感じられません。
- ・町内会が衰退していると思うが、市は何もしていないと思う。

●分からない

- ・協働で何を具体的に行っているのか、全くわからない。例えば何をしているのか、実績とか今までして来たこと等がさっぱり分かりません。
- ・他の市について知らないので比較できない。
- ・「協働」の定義でなく具体的な事例が不明。
- ・自治会活動を通して協働させていただいている。
- ・自分の生活と仕事でいっぱい、広報紙で見えるくらいで、実際に進んでいると実感はできないので。
- ・協働によるまちづくりとして、どの様なことがあるのかが分かっていない。
- ・情報が入ってこない。知っている人は知っている参加しているのかもしれないが、興味がない。あるいは情報を知らない人にとっては、何があるのか不明。
- ・今まで特に興味がなかった。
- ・考えたことがない。
- ・目に見えない。
- ・活動自体が分からない。何をどうするのか。
- ・協働してる実感がない。
- ・市自体が何をやっているのか全然聞こえてこない。
- ・月から金まで、郊外で仕事をして、土、日しかないなので、まったく分かりません。
- ・評価する判断基準分からない。
- ・誰が何をしているのか知らないため。
- ・協働がよく見えていないと思います。
- ・もっとわかりやすい文言にできないのか。
- ・まちづくりに関してどのようなことをしているのかがまず知りません。町内のことに関しては、回覧板でみているのでよく分かり、参加もしています。
- ・他の市と比べようがない。

第2章第5節 問18 条例第25条「市民協働の推進」の条文について、ご意見

- ・言葉はよいが、そもそも市のサービスや役割を市民に押しつけようとする意図が見てとれるような気がする。広報の配布や自治会の活動などきちんと考えていく必要がある。自治会に入らない人は、ゴミの収集サービスも受けられない現状を市はどのように考えているのか。
- ・「協働のまちづくりを推進するための環境づくり」の具体的なイメージがつきません。
- ・自治会のあり方を話会う交流会等で、自分の自治会と他の自治会を研鑽し、活発化する必要がある。除雪と花だんも大切だけど加入数が減ってるのが気がかりです。
- ・条文2の自主性、自立性は何を指しているのか、現在これらが尊重されているのか、現実を見つめなおし制度を作るべき。
- ・市民協働の推進のための条例を先ず広く広めてほしい。
- ・まちづくりとして鳴子まつりのファンです。もっとPRをして大勢の市民を呼んでほしいです。江別、野幌、大麻を区分けをなくし、一緒にまつりを楽しみたいです。
- ・自分の住む町を住みよい場所にして行くことは行政だけではなく、一般市民が無償の協力ができる状況を作り出すことが必要と思う。もっとできると思う。
- ・年齢が高いため、あまり関心がない。
- ・3については、市民にとってメリットがあることは実際はこちらから問合せしなければわからないと思う。
- ・私は個人的には外見が普通に見えるため、答えにくい場合が多い。不参加の場合は理由を聞かれるが答えたくない。町内会行事では白い目で見られる。
- ・どれもマトモに実践できていない。市がそのために動こうとしている姿勢が全く感じられない。
- ・町内会と連携して市の活動を市民に知ってもらい、参加を促していくとよいのではないのでしょうか。
- ・条例があっても参加した人の話を聞いた事がない。聞ける場があれば。
- ・大変申し訳ないが、市外で働いている身にはなかなか参加の機会がない。
- ・もっと簡単に分かりやすく。
- ・自治会に行っただけの行動・時間合わないことがあります。年に2、3回でもよいのですが、意見提出の用紙でも配って、ほしいです。
- ・まず、市民がどれだけのことができるのか、市民協働のできない人がいたとしても、それを支えてあげる配慮が必要。市の活性化には、大きなことより、小さなことの積み重ねが必要。
- ・宣言はこんなものでよし、必要と思えない。
- ・市の環境づくりに、行政や多様な市民が日常的に交わるしかけがないといけないと思う。
- ・自治会館の必要性に疑問。市や道の施設を活用すべき。
- ・市民が様々な活動をするとき、市政との関連は必ず出てくるので、この条文については市民に詳しく説明する機会があればよいと思います。
- ・市はあくまでも市の発展、まちづくりに注力してもらい、その後に市民に還元するべき。
- ・環境作りとは何か、一番の問題点ではないか。
- ・今後機会があれば参加をしてみたいです。
- ・言葉が難しく、理解できない。
- ・内容はともかく、広く知らしめることが必要。
- ・環境づくりとは、何か、具体的に明示してほしい。
- ・自治会により地域住民の生活様式(団地や商店街等)が異なり、市の施策の受皿としての住民意識に差がある。そのため、女性の活動に場面を広げるような施策が必要である。そうすることで、地域間格差がなくなっていくと思われる。
- ・自治会があるので、自治会役員が常に代表となって私達自治会員に知らせてくれたり、活動してくれています。ですから協働のまちづくりは、かなり推進されていると思っています。えぽあホールの利用も充実していると思われます。
- ・協働2項の重要性を感じる。

第2章第5節 問18 条例第25条「市民協働の推進」の条文について、ご意見

- ・具体的な表現そのものがハッキリと伝わらない25条だと思う。
- ・市民及び市は積極的に協働の推進に努めている。
- ・1、2項は表現が抽象的すぎる。市民協働の推進の根本的具現防策を記述するべきと考える。
- ・とてもよい条例だと思います。
- ・25条、3項の、内容に疑問点がある。市民がまちづくりに参加しないということは、その市民の意見を反映せずにまちづくりをすることになる。このことによってその市民に、不利益と気づかないかもしれないが、意見は無視されることとなります。この場合参加しなかった市民については、考慮せずに進めるのか、それとも意見がわからない市民がいることを前提に進めるのか、よくわからない。参加しない。
- ・本条例には前述した「必要な事項は別に定める」という文言が多いので、ある規準に基づく規約の審査機関からは、本条例は不適合と判断されると思う。
- ・年齢、職、状況にかかわらず、全ての市民が理解できる、知る事ができるような方法が必要なのは。
- ・すでに存在している市民ボランティア団体の有機的な連携が必要だと思う。
- ・若い世帯と老いた世帯とのすき間が大きいです。市はそこに入ることは困難ではないか。
- ・具体的な絵が浮かんでこない。
- ・過去に自治会役員をしましたが、「市民協働の推進」を理由にして市の仕事が自治会に流れてきている印象を受けました。健康診断の受診促進事業など。
- ・働きかけ(時間をかけ人を増やす、多少の強制性)とそれからの自主性を大きくすること。
- ・協働などという言葉でごまかさず、市議が市民の意見を十分に聞き、市議が責任を持って市政を進めなさい。選挙で選ばれた人が民主主義の全てです。
- ・条例は当たり前な内容ばかりである、それよりも、じゃあどうやって「協働の推進」を進めるのかのプランが足りない(P・D・C・Aを考えるべき)。条件を作ったら市民が積極的に参加できるものではない。
- ・条例第24条への感想と同じで、内容に実行が伴っていないと思う。
- ・福祉を学んでいる大学生・院生等のボランティアとの連携を図り、幅広い年齢の方々が安心して意見を協議したり、協同作業が円満に進んでいけるよう、各企画での、市と市民間でのコーディネーター的役割で参入していただくとよいかと思えます。
- ・もっと強く推進するべきと考える。

第2章第6節 自由記入一覧

1. 自治基本条例(情報)	
1	広報紙は唯一の情報源として大事にしている。イベント、アウトドア情報、啓蒙講座、健康イベント等きめ細かな江別市内の情報充実を図る一層の充実を望みたい。
2	情報誌を充実させる(若年者も興味を持つような内容にする)等の施策を講じて、江別市発展のためにがんばってください。
3	知らない人が多いので、いろいろな方法で広めるべきだと思います。誰にでも分かるように簡単にすることで、いろいろな人に伝えられると思います。
4	江別市で生まれ育ち、生活しています。市民一人ひとりが江別のことを理解し、みんなでまちをつくり、情報を共有して発信し、今以上に住みよいまちになることを望みます。
5	広く市民に知ってもらえるように周知徹底に努力してもらいたい。
6	興味をもつように、もっとPRが必要だと思います。
7	中学生くらいから、知る機会があるといいと思います。
8	みんなが知らない条文では、いくら立派な事をして意味がない。しっかりと情報を発信していくべき。
9	まちづくりを進めるうえで、効果的なのは、毎月、各戸に配布される「広報えべつ」であると思います。今後とも条例等については、できるだけ分かりやすく解説して掲載することが必要だと思います。
10	市政の赤字をどのようにして解決するのですか。市民に分かるように説明してください。
11	我が家では誰一人として上の4つの項目に関して知っている者はいませんでした。PRが足りないのでは。
12	大災害時の市民対応について具体的に、自治会への行政指導を積極的に実施、高齢者対応を。特に一人住まいの市民に、活動状況を新聞等でPRすべきである。
13	「江別市自治基本条例」を読む機会を与えられたことに感謝します。
14	条文・解説共に言葉が難かすぎる。理解ができず、分かりにくい。若い人から高齢者まで、市民目線で誰が読んでも分かりやすい内容にしてほしい。江別市民自治基本条例をソフトにやわらかくなじませてほしい。
15	「広報えべつ」等に記載があればと思います。
16	できれば自治会活動を進めるにあたって、市が積極的にPRを行ってほしいと思います。自治会の役員は好きでやっている人が多いので、市民の目を市政に向けよう願っています。
17	広報紙の全戸配布は不要。情報がほしい時はいくらでも手段がある(いつも資源ゴミです。税金の無駄使い。)
18	条例の簡明な公報(事)活動を進め、市民意識の向上に努めるよう願います。
19	市の回覧文書を自治会に押しつけ、回覧させている。その量は相当なものだ。是正されたい。
20	町内会の役員にも理解できる人が(フォローできる)いてほしい。
21	前回、何かのアンケートで広報が入らないと記入したら、その次の月から入るようになった。3カ月ぐらいたらまた入らなくなった。アパートはやっぱり入れてもらえないのか。わざわざ、コンビニか公民館にもらいに行こうとは思わない。
22	「広報えべつ」や「議会だより」(幾分マンネリ)の充実(記念行事やイベント等のトピックの全市民周知等)
23	ホームページで市民の意見を提出できる仕組み、その回答を市民が参照できる仕組みがほしい。
24	市民にもっと分かりやすく、効果が分かるように、アピールした方がいいと思います。基本条例を読んで行動する人はまずいないと思います。
25	あらゆる機会を通じて、市民に感心を持ってもらうよう、PR活動を徹底する。
26	どのような企画があるのかを告知してほしいです。PR不足だと思います。関係者だけの参加だと思います。
27	地域社会のつながりを作っていくためのガイドラインが分からないので、知る機会を増やしていただけることを希望します。
28	江別市自治基本条例が一般市民にとって大切であることを十分に認識するためには、一般の住民と市との接触(説明会等)が必要だと思う。各自治会長等の役員の人達は認識されていると思うが、一般住民には伝わってこない。
29	江別市自治基本条例で市民に直接関係ある条文を抜粋し、市民に配布、親しんでもらう。
30	このアンケートがきてはじめて「江別市自治基本条例」という条例があることを知りました。条例を制定したときには広報やホームページ等で周知したのだとは思いますが、市民がどのくらい知っているのか、内容はどのくらい理解されているのか少々疑問です。市と市民が「協働」してよりよいまちづくりをしていこうと未来に向けて動こうとするのであれば、もっと広く市民に知ってもらえるような環境を、参加しやすく意見の出しやすい方法を、市だけではなく市民等にも協力してもらいながら、考えた方がよいと思います。きっと何かのきっかけで、参加する方が増えると思います。

第2章第6節 自由記入一覧

31	広報は月一回見るので、その内容のPRを強化することが必要と思う。
32	「広報えべつ」の充実。
33	まずは「広報えべつ」を全世帯に配布することを望みます。市議会で自治基本条例が過去に可決された事も分からないので、本アンケートも答えようがありませんでした。
34	そもそも「自治基本条例」自体を知らない人(自分も含め)が多いと思う。うまくアピールすることが第一。「どう生かすか？」を次の段階で考えていけるようになればと思う。
35	広報PRや広告をもっとすべき。江別に住んでいても、江別市の情報はあまり入ってきません。
36	もっと、新聞等でPRをしてください。
37	条文と解説について、もっと分かりやすくしてほしい。
38	基本的に仕事で、主人が不在ということもあり、忙しすぎて、この方面の情報を得る機会は極端に少ない。Facebook等、SNSの積極的活用を期待します。
39	分かりやすい表現を心がけないと、市民には伝わらないのではないかと思います。
40	市民が参加しやすい方法を考えるべき。市民が参加した結果(よくなったこと等)をもっと公表すべき。公表の方法も要検討。HPや広報をみんなが見ているとは限らない。
41	どこで何をやっているのか、PRに触れることがないので広告等あった方がいいと思う。
42	小学校高学年から高齢者の方々まで理解できるよう、内容を分かりやすい表現で示すパンフレット等を作成してはいかがでしょうか(原文はこのままとしても)。
2. 自治基本条例(市民協働)	
43	未来の子ども達に江別市がよい町であることを大人達が一人ひとり考え、行動していかなければならないと思います。
44	まちづくりは、人口増加、江別に住み着く人の増加が必要不可欠。人口増のための江別としての施策をより一層推し進めてほしい。
45	福祉的なまちづくり、健康におけるまちづくり、高齢者に視点をおいたまちづくり、子どもを視点にしたまちづくり、自治会等災害に強いまちづくり等いろいろな分野でまちづくりについて検討しているものをまとめられないものなのかと感じます。行政の縦割を感じてしまいます。
46	超高齢化社会における市民自治、協働の推進はどのような方向性があるか、ともに考えられるような意識づけが必要か。
47	江別市で生まれ育ち、生活しています。市民一人ひとりが江別のことを理解し、みんなでまちをつくり、情報を共有して発信し、今以上に住みよいまちになることを望みます。
48	○江別市民であること ○年代の捉え方 ○地域差がないか ○男女間格差がないか 以上の事を公正かつ適正に考えてもらって、やってほしい。
49	自治基本条例の目的が、今ひとつ分からない。「市民自治を実現する目的とする」とあるが、条例の内容を見てもそうとは思えない。条例をとりあえず作った事で満足してないか。
50	条文・解説共に言葉が難かしすぎる。理解ができず、分かりにくい。若い人から高齢者まで、市民目線で誰が読んでも分かりやすい内容にしてほしい。江別市民自治基本条例をソフトにやわらかくなじませてほしい。
51	条例の簡明な公報(事)活動を進め、市民意識の向上に努めるよう願います。
52	第2条(4)まちづくり 現状は札幌のベッドタウンで家があるだけ。仕事も生活も札幌でという人が多いのでは。
53	市のまちづくりに関するさまざまな協議会、会合、イベント等を更に増やして行って、市民参加型の環境を整えてほしいです。自然体で参加できる空気であれば、更に意見も増えて行くと思いますし、江別市に“光”をもたらす事になるでしょう。
54	自治基本条例をはじめ拝読しましたが、この条例通りにすべて実行されることを願いますし、市民の協力が必要であることを感じました。
55	市民参加から市民参画の意識が高まれば、市民自治・市民協働の意識が高まると考える。その仕組みこそ自治基本条例に必要なのでは。
56	市と市民が一緒になって、江別市の将来(少子化)まちづくりをもっと話し合うことが必要だと思えます。市職員と民間企業の若手社員を集めて合同研修会を開催するのもいいのでは。もっともっと市や市議が情報公開をすべきです(政務活動費の全公開)。
57	罰則規定に関する項目がない。

第2章第6節 自由記入一覧

58	野幌の「まちづくり」の中で、どこに、いつ、どんな建物ができるのか、どの道路がどうなるのか、というようなことがほとんど知らされなかった。非常に不満である。
59	地域社会のつながりを作っていくためのガイドラインが分からないので、知る機会を増やしていただけることを希望します。
60	もっと障がい児(者)等が住みやすい町になればいいと思います。
61	「まちづくり」は何なのか、目的は何、市のため、市民のため、個人のため、企業のため、現代風にもっと誰もが、はっきり見える具体的な言葉で記述してほしい。逆に施策の検証、立案までの市民の声を聞いて反映させるプロセスに直していただきたい。※立派な言葉を並べても心にたたくものがない。
62	市が主導するというよりむしろ、官民共同というスタイルや民意の盛り上がりからこういう活動につながってほしいと思う。
63	“だれがどんな目標に向かって何をすべきか”の「だれ」に注目し、それぞれの立場、市職員、医師会、自治会長の集まり、自治会、学校等が考えていくチームができるのと全体的にアップしていくのでは。
64	子どもについて、子育てのしやすいまちにすれば、たくさん若者もくると思います。
65	災害時には共助が大切だと思いますが、普段の生活で近所との交流がないため、危機管理に不安を感じています。
66	今回のアンケート調査は、今後更によりよいまちづくりを進めるためのものと解釈しているが、同封された資料では全く不十分で、ほとんど理解できず、お手上げの状態であった。経費と時間の無駄にならぬような方法を検討してほしい。
67	江別で暮らす全ての人が、生きづらさや孤独感を感じないで生活できるようになるといいですね。
68	せっかく大学がたくさんあるのだから、学生さんと協力してもよいのでは。ボランティア・地域活動に若い方が動いているところもあります。
3. 自治基本条例(市民参加)	
69	市民自治:市民一人ひとりが考え行動するということはないのでは。町内会、自治会単位での行動になるのではないのか。どういったことで、(場所、時、機会)参加行動しているのかが不明瞭。
70	未来の子ども達に江別市がよい町であることを大人達が一人ひとり考え、行動していかなければならないと思います。
71	若い人達の考えに従って暮らしていく。
72	仕事世代の年齢ではまちづくりに参加する時間がありません。取り組み自体に興味があつて、住みよいまちになるよう協力や参加をしたいですが、現役をおえて、健康で時間がとれなければなかなか難しいと思います。広報等は充実した内容だと思いますので、日頃はそれを参考に考えていきたいです。
73	市民の高齢化が不安です。高齢者をいかに自治会活動や、健康づくりが大切だと思います。江別市もいろいろと取り組んでいますが、どの施策にどのくらいの市民が参加しているか(日常的に)具体的に公表してほしいです。パブリックコメントも意見提出後、いつも「市で検討します」の回答。どのように検討されたのか再度知らせてください。
74	市職員一人ひとりが、市民のために情熱をもって働いているのだろうか。市職員の積極的な活動なくして市民参加はないのでは。
75	「人」の中には子ども、障がいのある人、高齢者等立場の弱い人達が含まれているのか。今一度考えを見なおすべきだと思う。それらの人達が安心して住める街が、住みやすい街だといえると思う。市民の話し合い場に、それらの人達も参加させるべき。
76	参加の呼びかけを強力にしてほしい。
77	江別市に転入して以来、賃貸から持ち家になりました。賃貸入居時は、自治会にも加入させてもらえず、広報紙ももらえませんでした。同じ市民なのに、不平等だと感じました。市民に平等に参画の機会が与えられる江別市になってくれることを願います。
78	若い方々に参加してもらえるような活動があるといい。
79	誰でも気軽に参加できるよう心がけてもらいたい。
80	ホームページで市民の意見を提出できる仕組み、その回答を市民が参照できる仕組みがほしい。
81	都市で多くみられる若者や40～50代くらいの年齢の方の意見、参加ができればと思います。いろいろなボランティア等についても、年齢層が高く、それでよいのでしょうか。若い世代にもぜひ声かけ等が必要だと思います。
82	フルタイムで働く住民の活動参加への配慮はどのように行っていくのか。行わないのか…
83	どのような企画があるのかを告知してほしいです。PR不足だと思います。関係者だけの参加だと思います。
84	ボランティア等は以前から何か参加できたらと思っていましたので、小さな1歩を踏み出さなければと思いました。
85	障がい者の方やペットボランティア等、お手伝いできる事があればと思います。「どこで、募集しているのか」、「江別市ではやってない」とか、分かればいいのですが。

第2章第6節 自由記入一覧

86	市が主導するというよりむしろ、官民共同というスタイルや民意の盛り上がりからこういう活動につながっていけばいいと思う。
87	市民参加できるものに関して、もう少し周知してほしい。
88	いろいろな形で参加できるようにしていただければ、と思います。
89	もっと積極的に参加の機会を増やすよう工夫をお願いします。
90	市民参加のできるものがたくさんあると嬉しいです。年を重ねても歩いてすぐのところに集えるものがあると、孤独感もなく楽しい人生になると思います。宜しくお願い致します。
91	子どもが積極的に参加・活動できる環境づくりに期待しています。
92	参加を強制するようなことはやめてほしいです。
93	各種条例等がありますが、自分の生活において参加することは難しいのが現状です。今後、参加するよう考えたいと思います。
94	市民が市をつくるということは、直接市政に参加することではない。代議員制の我が国では、選挙で選ばれた人が責任をもって市政を行うべきです。外国人が市政に参加できるような制度は必要ありません。また自治会にも頼りすぎです。文書配布等、本来市が行うことです。当たり前のように自治会へ依頼することにも反対です。
95	今後、条例についてもっと勉強して、意見・参加できるようにしたいと思います。
4. 自治基本条例(情報公開制度)	
96	市民の責務を求めるのであれば、より一層の市側の情報公開が求められるものと考えます。特に住民サービスと、任意組織である自治会の考え方については、一度整理すべきだと考えます。
97	個人情報の管理を望む。条文はもう少し考えてほしい(内容について)。
98	市と市民が一緒になって、江別市の将来(少子化)まちづくりをもっと話し合うことが必要だと思います。市職員と民間企業の若手社員を集めて合同研修会を開催するのもいいのでは。もっともっと市や市議が情報公開をすべきです(政務活動費の全公開)。
99	地域の「共助」を邪魔するのは、個人情報にこだわり過ぎることがあるように思う。本当の支援の障害になっているのではないかと。再考を強く要望する。
5. 市政について	
100	野幌駅前の開発、大麻は学生中心に自治会発足等進められていますが、江別駅前はさびしくなるばかりです。江別小学校の跡地の有効活用、江別の温泉(〇〇〇(固有名詞のため削除))があるにもかかわらず、利用が一般に広まっておらず、廃業した銭湯もあり残念です。
101	高齢者の足として、市長の足としても、路線バスの一層の充実を。病院だけでなく、市内各所のイベント会場に手軽に出かけられるような市内バスの配置網の整備はできないか。これが可能であれば、市民参加の充実がもっと図れると思う。
102	健康のために市民体育館と公会堂で週一、体操に行ってますが、場所とりがもう少し簡単にできないものではないでしょうか。体育館は仕方ないにしても公会堂は、だいたい決まった団体なのに、1か月ごとに場所とりに行かなければなりません。高齢になってきているのに、少しでも、使い安くしていただきたいです。
103	・サイクリングロードを作ってもらいたい。北広島等は綺麗に整備されていますよね。夏場だけでも近隣から人が来てくれて、お金も落ちてくれるのでは。 ・野幌の再開発にも物申したいことが多々ありますが、まずはまちを明るく！繁華街がどこにあるか分からないようでは問題ありかなと…。そう簡単にいかないことは承知の上ですが。 ・札幌ドームから日ハムが移転の際、ぜひ江別へ！という熱意が薄かったです。まちづくりは千歳線沿いの市町村に負けている感があります。空港がなくても、もっと人を呼べるのではないのでしょうか。道の駅等。
104	○水道・ガス、灯油代が高い。 ○江別に入ったとたん町が暗い。 ○冬、除雪車が置いていく重い雪で車が出せない。 ○マンホールに穴があかないように除雪してほしい。
105	江別にIKEAやコストコを作してほしいです。そうすれば、札幌や他市からも、たくさんの方々が江別に足を運んでくれますし、江別を知ってもらいいいきっかけになると思います。また、三番道から国道12号につながる道路を、もみじ台道から大麻駅前通の間に1本作ってほしいです。通勤時間帯に車が混雑しています(JR森林公園駅付近です)。
106	今は何も不満はありません。
107	市長をはじめ、行政の方々は、もっと市民に親しまれるよう努めてください(お役人の感覚です)。
108	市政の赤字をどのようにして解決するのですか。市民に分かるように説明してください。

第2章第6節 自由記入一覧

109	職員の対応を改善すべき。不親切。意見を出しても聞く耳持たず、できませんと事務的だったりする。相手の立場になり行動しない限り、何も変わらない。参加したいと思えない。
110	「江別エブリ」に何回も行きたいと思うような情報の場所になってほしい。話を聞いて行っただが、1度でいいかなと思ひ残念。
111	広く市民の意見を募る必要があり、アンケート調査や市のホームページに意見を吸い上げる”窓口”を開設すべきでは。
112	人口が12万人を切っている。若い人は、札幌に出ていく人が多いと思う。野幌駅周辺にお店等たくさん増やしてほしい。
113	回りの市町村に比べ(北広島、恵庭、千歳、石狩)どんくさい。人口が多いだけで夢のない町・村ですね。
114	30年近く江別に居住していますが、特徴のない町だと、つくづく思っています。環境もよく12万人近くいるにも、かかわらず、何をするにも、中途半端。もったいないです。
115	市内中学校・高校への出前授業(学校に負担をかけないように)をやってください。
116	冬の3番通の除排雪についてですが、電話対応が上から目線で説明になっていない(数年前から改善する意識が全くない)。毎年の転入者や市外からも「どうなってるの」と話題になっているほどなので、部署だけではなく、市全体で扱ってほしい(経緯や理由等納得できる説明が必要)市民全員に説明する場を設けてほしい。広報でもよし。
117	このアンケートの目的がよく分からない。設問内容から見て意義があるとは思えない。
118	・シニア層の増化。免許(車)の返納にともなう、その後の江別市としての援助等のしくみを強化してほしい。(例)バス券の利用。タクシーの利用等しくみがあれば免許の返納等も考えたいと思います。 ・江別市に住んでよかったという町にしてください。よろしくお願ひ致します。
119	私の今やってほしいこと。古いと思われませんが携帯電話を持っていません(種々の問題もありそうで)。野幌駅には公衆電話なし。設置してほしいですね。
120	ホームページで市民の意見を提出できる仕組み、その回答を市民が参照できる仕組みがほしい。
121	住みやすい江別にするために、こんな事が必要だとは思わない。水道代を安くしてくれたほうが、市民の幸せになると思う。
122	所詮アリバイ作りで、他自治体の条例をパクっているだけ(他の自治体がよくも言っているわけではない)。
123	市長の顔が見えない。市長の声を聞いた事がない。町内の役員以外の人は、市長の声を聞いた人が少ない。
124	身近な問題を説明すべき。除雪や他市町村よりまずい水(薬のにおい)に感じる。岩見沢、札幌よりまずい。薬を飲んでいるようだ
125	行政改革をもっと進めること 職員の江別に定住を進め災害対策を進めるべき。
126	行政も議会も、市民のために働いてください。国や省庁からの上意下達で働くのではなく、自治体として、市民の利益のために汗を流してください。
127	高齢者なので今のカタカナ文字については、日本語化しているものもあるでしょうが、「ワークショップ」、「パブリックコメント」、「セミナー」等ぼんやりとしか理解できない。
128	私の住んでいる地区には自治会館がありません。自治会館で気軽に大人から子どもまでふれあえるようなことができると思っています。児童館もほしいです。
129	この地に住んで9年になりますが、うちは、自治会費の他に排雪費として毎月200円払ってきました。でも、バス通りに面していて、市の排雪が入るからという理由で、1度も自治会の排雪をしてもらったことがありません。排雪費として払っているのに、1度もやってくれないというのはおかしいと思うのです。以前、うちと同じように自治会費といっしょに排雪費を払って、排雪してもらえない家が100件以上あるはず。バス通り全部ですから、合わせたら、すごい金額ですよ！他の自治体に聞いたことがあるのですが、バス通りでも、自治排雪してもらっているそうです。うちの自治会だけ、なぜできないのか不思議です。
130	議員が毎日何をしているか、もっと市民に教えてほしいです。選挙の時だけ頼みに来て、その後は、知らんぷりで困惑しています。議員を増やしていいので、議員報酬を減らせばいいのでは。選挙後一度も議員さんを見たことはありません。何をしているのでしょうか？もっと市民活動に参加し、汗を流しているところを見たいです。
131	各駅へのアクセスができていない。ミニバスでよいから駅へのアクセスをどうにかしてほしい。JR最終便で帰る時はすでにバスがなく不便。病院に関しても、札幌の病院へ行く。江別の病院は安心感がない。
132	札幌市との合併。
133	・市民が季節ごとに楽しめる場所(例 美唄の東明公園)を整備してほしい。 ・21世紀の今日でもなお徐排雪に関しては、昭和時代の発想であり高齢者や弱者に対して、住みにくい状況を放置している(仕方ないというように改善しようとしていないように思われます)。 ・災害情報、福祉に関して個々への連絡(利用者の立場に立って)がなされていない。
134	こういうアンケートをインターネットを活用してできないものだろうか。
135	これからも頑張ってください。

第2章第6節 自由記入一覧

136	最近、自然災害等の発生が多いが、いざという時の備えを全くしてなく、これから冬に向かって不安があり(地震等)、身近な生活に対する情報の充実を願っています。
137	アンケート等安易な方法に頼るのではなく(所謂無責任な回答しか期待できないのでは)、担当者がじっくり考えることだと思います。経過の報告をしっかりと行うことが肝要です。
138	自治基本条例は読んでいて楽しくない。同じことのくり返しばかり。
139	今の市長や議員が変わらなければ、江別市はよくなる。とくに市立病院はよくない。
140	市民コンサート等、芸術活動の場や機会を増やしてほしい。
141	野幌駅周辺に2時間くらい無料の市民向けの無料駐車場がほしいです。
142	今は車社会、特に中心街から外れている市民等の参加を容易にするため、市、自治会、団体等のイベントには駐車場の確保に予算をつける等があってもよいのではないかと。
143	江別市はカタカナ文字を使いすぎています。パブリックコメント、ワークショップ等、漠然とした言葉は使わず日本語で表現すべきです。
144	排水口の整備を強くお願いしたい(水が流れない)。
145	分かりやすい表現を心がけないと、市民には伝わらないのではないかと思います。
146	生活保護を受けている方々が希望をもてる、働く意欲が出るような仕組み、サポート等があればよいのではと思います。
147	このアンケートは本当に無作為抽出ですか。我が家には市からたくさんアンケートがきますが。
148	個人の意見が反映されない市政の感がある。
149	市民が市をつくるということは、直接市政に参加することではない。代議員制の我が国では、選挙で選ばれた人が責任をもって市政を行うべきです。外国人が市政に参加できるような制度は必要ありません。また自治会にも頼りすぎです。文書配布等、本来市が行うことです。当たり前のように自治会へ依頼することにも反対です。
150	人口減を食い止める政策を考えてください。
151	設問が分かりづらい。
152	市長、議員と一般市民との接点がほとんどない。議会開催のスケジュール公表、傍聴の推進等、もっと市民との距離を近くして、一体となって行政を進めることを願う。
153	内容を分かりやすくしてほしい。排雪の回数を増やしてほしい。